

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-68)、
廃棄物管理施設(43)、MOX燃料加工施設(2-32))」

2. 日時：令和5年6月23日(金) 13時30分～16時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、小野安全審
査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社 再処理事業部副部長(設工認) 兼 燃料製造事業部燃料製
造建設所 許認可業務課長

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー 他1名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年6月22
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・竜巻防護対策設備の説明に係る今後の進め方について

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・個別補足説明資料に関しては、構造設計等の説明において補足の具体的内
容と説明時期を整理して示す。
- ・再処理施設の構造設計等を説明する上での設備分類については、MOX施設
と同様に各設備分類で具体的に説明する内容を整理していくステップを
明確にする。
- ・重大事故等対処設備については、今回説明するとしていた類型分類及び構
造設計等の前提となる整理の方針について説明できなかったため、整理方
針を示し、進め方を説明する。
- ・耐震の地盤モデルについて、一般的な地盤モデルの作成方法を整理した上

で、4 因子に対しての検証の必要性や検証の内容を体系的に説明する。また、減衰定数の追加検討については、情報収集を広く行い、実施する検討内容及びその選定理由を説明する。

- ・ 竜巻防護対策設備については、これまで会合で受けた指摘等を踏まえ、申請対象設備の構造設計等を具体的に示す前に整理すべき設計の考え方を説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年6月22日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	はい、録音を開始しましたと規制庁山口ですとそれではただいまから日本とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
00:00:15	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
00:00:27	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室から古作等た時に、岸野、尾野、横山、
00:00:37	武田、山口と遅れて大橋が参加しますとその他WEBからと、上出藤原ろうか幅先。
00:00:47	以上になります。どうぞそれでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明して、また当議題の構成、
00:00:57	を説明した上で本資料の説明を開始してください。
00:01:03	はい。訓練事務局中浜でございます。
00:01:07	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:11	Steering チームより、石原、関西電力様の野本様、石黒様。
00:01:19	あと、MOX 及び再処理の事務局。
00:01:22	参加してございます。
00:01:24	本日まで確認いただきます資料でございますけれども、昨日ご提出差し上げました今後の進め方、
00:01:33	及び、竜巻防護対策設備の説明に関わる今後の進め方について、
00:01:39	以上二つの資料のご確認をいただき、
00:01:43	いきたいと思う。それでは今後の進め方、より説明を変えさせていただきます。
00:01:51	はい。日本原燃石原でございます。
00:01:54	資料の説明に入ります前にまず、今回竜巻の今後の進め方の資料を、前日に追加をしてご提示をさせていただきました。
00:02:05	本来であれば前もってスケジュールにも反映してお伝えをした上で調整させていただくところですが、
00:02:11	すみません私の台頭不良もあって、ぎりぎりになってしまいまして申し訳ありません。今後は、前前様に調整させていただきますので、今回は申し訳ありませんでした。

00:02:24	はい、では設置の説明ですが今後の進め方は1ポツ2ポツたんぽぽと構成が分かれてございます。1.2ポイントをまずやってところで一旦区切りたいと思います。
00:02:37	まず今後の進め方の1ポツ、構造設計等の説明、いわゆる共通留意の進め方でございます。
00:02:45	前回議事録時期でのやりとりを踏まえまして、大きく
00:02:51	観点ですかね、整理をさせていただいてございます。
00:02:56	まず1点目は、展開やりとりがありました個別法と説明資料1説明するののかという点でございます。
00:03:03	こちらにつきましてはまだ完全整理が終わったわけではなかったもので、参考として今、炭鉱2-1、2-2ということで資料を、
00:03:13	付けさしていただいておりますが、
00:03:15	まず
00:03:18	個別の説明書の観点と、もう一つ評価の関係、いわゆる2-2のスタートがいつできるのかという観点と、もう一つの観点を大きく二つで、
00:03:30	医療と短甲2-1、2-2を整理をさせていただいてございます。個別の項目につきましては参考の2-2でございまして、こちらに、
00:03:39	目次立て第2回で申請に加わって提出を予定しております個別押せ、説明資料を、例を挙げましてそれに対して、
00:03:50	STEPと書いてあるところはこれは今日柘植。
00:03:56	遅れたところがこれ092っていうのは今一時的に、許可整合等々の前提条件の整理の場域ということで紐づけをしまして、
00:04:08	それに対して、教育訓練のするグループのどこで、この関係が取り直すのかというのを書いてございます。
00:04:17	基本的な考え方は、
00:04:21	共通受
00:04:24	次が変わるものにおいてですので、2-1-1、この二つに関わるものは共通順位の説明の中で、合わせて整理をして説明をさせていただきたいと思ってます。でその共通要因のインターネットになってるのかっていうのが、一番右側の説明時期と書いてはどこにいったい、あります説明グループのピックアップなければ、
00:04:42	現場が一番メリットのところに帰りたいということ。

00:04:48	大南に関わるものだから、関根グループが終わると、その2-2の説明に入る場ということのリンクを取った上で、2-2に関わる説明の時に合わせて、この個別補足説明資料をセットで説明をさせていただきたいということで、
00:05:01	今提示をさせていただいてございます。まだちょっと、留分練ってないところもありますので、これ継続して整理をさせていただいた上で、
00:05:09	その2-1と書いてあるものは、説明グループの時に合わせて別途説明資料出させていただいた上で、PETでご説明をさせていただこうと思っております。
00:05:21	一方チタン項の2-1ですけどこれは後程またね2-2の時に説明をさせていただきたいと思います。
00:05:31	はい。資料の1ページ目に戻っていただきまして、2点目が、
00:05:37	再処理の設計説明分類を一体いつクローズするのか、どういう資料との関係なのかという点。
00:05:44	これにつきましては、粗大1ポツの第1弾の下から、
00:05:50	二つ目と見一番タイプのポンプの関係でありまして、
00:05:56	いわゆる供給、説明が入る前に前提の整理等が必要な before というのを、以前からお話をさせていただいてまして、その中に、
00:06:04	代取の10段にこの案件が入ってます。
00:06:06	対象の17事項は、順次17で整理をさせていただきますと言っている中の項目が、もう一つが再処理の設計説明分類をどうするのかと、SAについてですね。
00:06:17	というのがありますのでそれとのリンクも図りながら、
00:06:20	この第2ステップが終わるまでに整理をして、共通の中で結果をお示しするという事で考えております。
00:06:30	はい。
00:06:32	大きく3点目が、第2弾の中に入ってます。今後の第2弾の進め方、その前提になる整理の
00:06:42	順番とか時期ですね。
00:06:44	あと、MOXの大関根グループ1以降をどうしていくつもりなのかという点でございますが、
00:06:51	こちらにつきましては、資料のページの3ページに、大きく、大きな流れを示させていただきました。

00:07:00	第1弾、No 御説明等、並行して、真ん中にあります、第2弾の前提整理として、
00:07:08	十時17、あと竜巻の、竜巻書いてある
00:07:12	竜巻乗せ考え方の整理、
00:07:14	あとは内的の溢水側の00資料、コメント回答も含めて準備していくと、いうのを、
00:07:22	それぞれお示しをしたタイミングでスタートさせていただきたいと思っております。
00:07:27	この結果をもって、それぞれの共通理事の説明に入っていくと。
00:07:32	第2弾のスタートは、以前から申し上げている通り、第1弾の第2ステップが完了した後に、第2弾に入りたいと思っております。
00:07:43	第2弾としては、今優先項目中で、再処理の重大事項、
00:07:49	対象への外的の竜巻対象への内的の溢水、あと対象の耐震評価の設備に関する説明文の項目。
00:07:58	に加えて、MOXの説明グループの2号、
00:08:01	ターゲットに整理を、説明を進めさせていただきたいと思っております。
00:08:06	これは目途、目途としては8月下旬頃から、それぞれの説明が、
00:08:13	この近くの順番に従って説明が回収できるようにさせていただきたいと思っております。
00:08:20	今、重大事故と内的の一声が若干後ろにずれているのはその前の前提整理に一定程度、時間がかかるのではないかと考えていてそれぞれ若干外的竜巻よりも、
00:08:32	スタート時期をおくらせる欧米、今考えておりました。
00:08:38	また、行動設計等を説明した後の2-2の説明をどうしていくかということについては、
00:08:46	8月中旬ごろまでに、第1弾の第2ステップが終わった後、
00:08:51	この第1弾の中で対象にしていますボックスの説明グループ1、これで完結するものについては、2-2-2の説明に入っていくということで考えております。
00:09:05	前回のやりとりをして、0資料をそのまま使って設計方針をやったんでは、共通要因と一緒にしようというやりとりがありましたので、ターゲットは2-2の解析評価の、
00:09:16	解析方法とか解析条件、

00:09:19	評価条件ですねそういったものの話を、00 資料を使うのとあとは個別補足説明資料をセットで、
00:09:26	その考え方根拠を説明していくということで整理をさせていただければと思っています。
00:09:35	最初の説明分類がまだ団結しておりませんので、この8月下旬から始まる第2第1項の対処の流れは、
00:09:45	この設計説明分類を作る。
00:09:47	MOXと同じように設計の説明のグループをつくり順番を決めて、それをもとに、この後の
00:09:55	進め方を、
00:09:58	ページをさせていただければと思っています。
00:10:02	はい。
00:10:04	この2-2の説明に代わるもののリンクとして、参考2-1、右下14ページになります。
00:10:12	これは複数の中の説明グループごとにどこで、評価項目が関係するのかわかるのを縦軸に、
00:10:21	評価が関係する設計の項目を挙げた上で、その評価がどこのグループ説明グループが設計説明分類かどこのグループで説明をされるかという整理をしたものでございます。
00:10:35	代表として説明するグループ、
00:10:39	臨界であればグループさんが、最終的な完了時期になりますけども、この
00:10:46	グループ3が終わった後に、
00:10:48	臨界の個別補足説明資料で課長な評価評価条件とか評価方法といったものの、2-2の説明に入りたいということ。
00:10:59	外調の竜巻であれば、第8条竜巻のところにありますがグループ2の説明が終わった後に、
00:11:08	竜巻の2-2のステージに入っていくと、というような今定義をしてございます。
00:11:13	こちら先ほど個別のところと一緒に、まだちょっとまだ練りきれてないところありますので継続して整理を進めさせていただいて、
00:11:21	その結果をまた別途お示しをしたいと思っています。
00:11:26	はい。

00:11:27	という流れで、本文の2ポツの解析評価等における説明の進め方のところでも、
00:11:36	何をね1から説明するのかというののリンクをとろうということで今作業を進めているところでございます。
00:11:44	はい。
00:11:46	あとつけさせていただいた説明資料のうち、5ページ以降に、
00:11:52	MOXの設計説明分類とあと説明グループの定理を、
00:11:58	前回審査会合でもいただきました。冒頭で、この第2回のこの条文の説明が完結するのかというところの、整理申した上で、
00:12:08	5ページをさしていただいております。
00:12:11	例えばですけど、右下5ページでいけば、関根グループの1でアンケートする条文が、下線が引いてある、真ん中にありますけど搬送と喚起、
00:12:23	ロップページ目の第2説明グループの2番、グループ2でいきますと、八条の外傷が終わると、というようなグルーピングになってございます。
00:12:36	7ページでいきますと、説明教育3番。
00:12:41	ここで10条の閉じ込め、四条の臨界、11条29条の火災、溢水、
00:12:48	在校というようなものが順に完結していきますということで先ほどの、
00:12:53	2-2の評価の項目の説明の順番にも関係してくるということでございます。
00:13:00	はい。
00:13:01	あとは、まだこれもすいません関係としてないので、間に合わせたかったんですけど、
00:13:08	フェリーが大きく出ないというのを前提に、
00:13:11	10ページ以降に再処理の下、現状の設計説明分類のA3、結果を載せております。
00:13:19	すいません個人的にはですね、結果を載せるのではなくて、この結果に至った考え方を載せたかったんですけど、そこがまだできてません。できてないのに何だっけ、何で結果ができるんだって話なんですけども、
00:13:33	前回の時にもご指摘ありました、この分類で全部の設備がそこに、どこどこにいたちゃんと入るのかということの裏付けをまず整理をしてご説明しないといけないと思ってまして。
00:13:48	形成対象設備リストの縦軸に乗ってる設備が、今回の新規制基準の変更要求事項からすると、

00:13:56	どうい
00:13:58	何て言うんすかね。
00:13:59	役者の色を持った人なのかと。
00:14:02	妨害的事象でいけば防護対象を出すとか、境界評価をしなきゃいけない評価対象ですとか、あと波及を考慮しなきゃいけない施設ですというよ うな、
00:14:11	例えばラベルを貼ってそれぞれを資料 3、共通の資料 3 とかでどうやっ てまとめて説明できるのか。
00:14:20	まとめて説明することによって、設計との関係がわかりやすくなる、も しくは、それがわかりづらくなるなれば分けて説明をすると、いうよう な整理をして、
00:14:30	この設計説明分類の、
00:14:33	終着駅を持っていきたいんですけどもまだそこまで与儀がご議決できる ような状態になってないので継続これも、
00:14:40	経理をすべて開けていただければと思っております。
00:14:45	はい。1、ずっと箕輪後もう 1 個会合でございます。衛生の関係。
00:14:52	でございます。
00:14:54	衛星の関係も、すみません今日、決着できなくて口頭での説明になり ます。
00:15:01	まず、SA で片付けないといけないのは大きく二つあると思ってまして まず共通要因の設計説明分類どうするんだという話。
00:15:09	これも考え方とともに、答えを示させていただきなきゃいけないと思っ てまして、現状考えてますが、大きく 5 分類です。
00:15:20	基本設計方針の主語になるものを挙げて、その手法になるものを設計が 単独で説明をする必要があると思われるものを、
00:15:30	屋外屋内なり常設可搬のたすきだけで四つ、
00:15:36	プラス、特別に内的だけに出てくるような登場人物と考えるこないだ前 回の御説口頭でお話をした。
00:15:46	前後全交流電源喪失のときを要因とした形成にカウントしないものみた いな規模ですね、これを主語にした説明分類を足して、5 分類 A、
00:15:58	整理をしようと思ってます。
00:16:00	以前出た説明のこととかは、奥ない。

00:16:05	赤羽常設と可搬それぞれ要求がありますのでそれぞれに分類をしてちゃんと設計要求事項が満たされていることを説明しようと思っておりますので、今、大きく5分類で、
00:16:15	説明ができるのではないかとということで整理を進めさせていただいてございますこれも、
00:16:21	また来週には、何らか説明ができるようにさせていただきます。
00:16:26	あとリリーと別の境界点がSAで要求である。
00:16:33	外部事象内部事象といった燃えた機能喪失させないといったようなもので、
00:16:38	DBと評価を一緒にするのかもしれないのかといった整理、天引きでございますけどこれもまだ継続評価の整理中です。
00:16:46	考え方は、第1回のMOXが十時01という、補足説明資料で整理させていただいたものを、
00:16:54	元にですね、同じように見解をしていこうということで今作業を整理を進めさせていただいてございます。
00:17:01	はい。
00:17:02	1ポツ2ポツの説明は以上でございます。
00:17:06	はい。規制庁山口です。散髪の耐震はまた、この後で、
00:17:12	までね。
00:17:13	フューチャーから確認
00:17:16	規制庁の田尻です。何かいろいろありそうなのでとりあえず順番に行こうと思います1ページのところで手塚テフラなどから説明があったと思いますけどすみません。
00:17:28	一番最初一つ目の、
00:17:32	まず今共通12の資料が昨日出てきて来週ヒアリングが設定されているところではあるんですけど、来週ってというのはまずどこまで、
00:17:41	議論の俎上に上げてるかを1回確認。
00:17:44	ちょっと第1ステップ第2ステップと分けてはいたところではあるんですけど一応審査会合でMOXこういうふうにやってきますよというふうに言ってで、今出てきている共通12っていうふうの意味でいうと、第1ステップ第2ステップの境目っていうのがわかりづらくなってきているような気がするんですけど、どのよう
00:18:01	に説明される予定ですか。

00:18:09	はい。乳井西原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りなところもあります。ただいま、添付1として資料をお出ししてまして、
00:18:19	徹底説明分類先ほどあった、5ページの項目の、
00:18:24	いけば、のものしか資料3はつけてございません。とはいえ、
00:18:32	見ていただいた通り、3番と6番も資料の中では登場するのが登場してきますので、その辺でどこが線引きが難しくなってるのと認識をします。
00:18:43	ただまずは、ステップ1は、この一番の項目をベースに、共通順位として、どういう説明をしていくかという骨格なり、待遇を、
00:18:58	整理をしていければなと思ってたところでした。ステップになると、この項目の一番3番6番9番、これの資料にも、
00:19:08	おさんもフルセットで
00:19:11	付けさせていただいて提示をすると。
00:19:13	そこでは個別の中身も含めて、資料、ステップ1の結果を反映したというのが前提ですけども、ここの徹底の中身の話をさせていただくことで、
00:19:25	ベースは考えておりました。
00:19:27	規制庁の旅ですと頭の整理なんですけど5ページのところ行っていただいて設備の分類としたよ。
00:19:34	設定者説明分類三、四ついで、梶浦が並べられてるところでまず第1ステップと言われてるのが多分1のグローブボックスですという話をされて、
00:19:44	このグローブボックスの話をするときは本説明グループで説明を行う関連条文の所上部に関しては、まずは1
00:19:51	Gとしては聞けると思う。
00:19:54	2の別紙3も、単に対象設備として換気とか、
00:19:59	条文としてはそれぞれ全部説明できる
00:20:02	とされている。
00:20:03	来週。
00:20:10	はい、宮城でシェアでございます。はい。結論から申し上げますと、
00:20:16	換気設備みたいなものが今回、資料2の中で整理になっていたと記憶をします。

00:20:22	もともと考えてるのがステップ2のところでのこのページにしてたところをつけて、フルセットにしようと思っておりました。
00:20:32	規制庁館です。なんで、グローブボックスに絡む各条文の整理ってのはご説明しようとしてるんですよっていうのまでが対象。
00:20:40	いて、あと369番の設備に係る内容っていうのは、全部築地だと思っただけがいいんですけどちょっと次回のタイミングでどこまで話ができるのかっていうところの認識だけ合わせていきたいという趣旨なんですけど。
00:20:53	はい。日本原燃者でございますまず資料の構成としてはおっしゃっていただいた通りです。まずは一番、項目1に関係する条文の資料2、あと、
00:21:04	その一部項目に関係する資料3がついているのが第1ステップの資料の状態でございます。その時点でどこまで説明、確認ができるのかということについては、
00:21:16	この耐震、あと、グローブボックスに限ったいわゆる構造設計なりの説明、
00:21:22	をもとに、資料に資料3で、どのレベルまでもものをつけてご説明をする必要があるかという形です、2-2の関係であったり、全体グローブボックスであれば、
00:21:36	900RD代表で何個かを説明したりしてそういう説明の仕方も含めてお話をさせていただくと、いうふうに思っておりました。
00:21:45	規制庁の館です。なんで資料としてはまずグローブボックスだけでも、資料23として、今後369で示そうとしてる考え方ぐらいは聞けるとまず思っていますかね。
00:21:57	はい。乳井次長でございます。はい。考え方はどう考えているのかって新野地区に答えられた状態で次のヒアリングに臨ませていただきたいと思ってます。
00:22:08	はい、規制庁と2です。あと資料1っていう意味でいうと、今の話だと資料23は随時だけど資料1、
00:22:15	1に関しては、第一グループでは第一グループのものを意識、第一グループに関係なくあれば、或いは一色説明できるようにそのけれどもより設計、
00:22:26	はい、二本木西浦でございます。はい、資料1についてはフル第2回申請対象設備フルセットでございます。

00:22:33	はい規制庁の時です。なんで、資料1は一式資料23に関してはまずはグローブボックスを代表にっていうことかと思うんですけど、そこですいません1ページに戻ってしまうんですけど、
00:22:44	1ページで言ったときに、あと三つ目のポツのところと関連。
00:22:48	10年説明に合わせ、
00:22:58	はい。これは、本、第1第1弾の本丸は、ステップ2だと思ってますので、
00:23:08	2の時に合わせてご説明をするということで考えてました。
00:23:13	成長谷です。江藤。
00:23:15	グローブボックスっていうのは、ステップ1はあくまで形1フォーマットの示し方だけ説明してステップ2で本丸っていいんだっけ。
00:23:27	はい。日本で仕上げございます。とてもやり方がいいかどうかは別としては、我々ってか私の方から提案させていただいたのは、このやり方で、前からお話をさせていただくと思ってました。
00:23:38	ちょっと説明が、
00:23:41	変わってたかもしれませんがもともとの趣旨はそういうことでございます。
00:23:44	はい。規制庁谷です。なんで次回来週ですかね来週のヒアリングのタイミングでは、少なくとも、
00:23:54	他の当然準備を進めてる形になるんだけどグローブボックスの中身について質問を受ければ当然こられる準備はしているけれど、それに合わせた補足との関係とかの部隊の資料を一緒につけてやるのはステップその次のタイミングに行かない。
00:24:06	足りないのかもしれないけどそのタイミングですってまず思えばいいですか。
00:24:10	はい、二本木西田でございますはい。おっしゃっていただいた通りだと思ってました。
00:24:15	はい。規制庁谷井です。で、ちょっと後の、
00:24:19	別紙でしたっけベストかもはらんでくるんですけど、ここで白根さんこれすいません14ページ以降とかで、
00:24:28	ここらに関しては、共通12のタイミングじゃなくてこの進め方ヒアリング、ちょっとこのまとめ方がいいかちょっと後で議論が出てくるんで

	そこは置いといて、まずどこまで今日議論をしたいと思えばいいですか。
00:24:44	はい、乳井西中でございます。2-1で説明することと2-2で説明することの、天引だったりあとは個別のところのタイミングで、
00:24:56	説明していくかという整理をしないといけないという認識を持って今進めさせていただいております。
00:25:02	先ほど説明的に申し上げた通りまだ、私としての経費を続けてやりたいところもありますので、今日の段階ではこういう整理何だかしない、ない。
00:25:16	重くなったり、どうかということで確認をしたいなと思ってました。
00:25:23	はい。清統太です。なぜ具体はともかくこの整理の仕方については今日議論したいということで進めて後で参考2-1に入りたい
00:25:33	はいすいません
00:25:34	上からっていう流れに行かせていただくんですけど。
00:25:37	今一ページに戻っていただいて、3ポツ目までがそんな
00:25:42	ところで、すいませんちょっとお聞きになったり先に聞いた。
00:25:45	けど、
00:25:45	2-2の話ってというのがここで出てきてで、
00:25:49	1ページの下の方で2ポツの説明のところだと、2-2棟とかになっていて、2-1の後って2-2があって3-1-2で堰外ってという流れになってると思うんですけど。
00:25:59	元のイメージとしては2-1が終わった後は2-2aだけです。
00:26:10	はい、二宮でございます考えていることからいきますと、2-2だけじゃなくて3も含めてセットでご説明しようと思ってました。ちょっと表現の仕方が統一的じゃなくて恐縮でございます。
00:26:21	はい規制庁の時です。評価の方法の話と、その結果からも、
00:26:27	というのは、
00:26:28	今説明したいのはわかったんですけど、例えば16ページからの参考2-2とかを見ると、
00:26:33	3の補足っちゃうのいないイメージになっていて全部2-2とかに、
00:26:38	2ってのは、2-2等々をまず持っとけばいいですかね。

00:26:48	はい、吉浦でございます。はい。我々の製品分画ないかもしれないのに頭だと思っていただいて、ただ若干まだ産物で、男がいるかってところがまだうまく整理できないところがあります。はい。
00:27:03	規制庁大谷です。イメージなんですけど2-2って解析手法とかの話なんでその実験結果であるとかその下、
00:27:14	具体の数字
00:27:16	3、
00:27:18	ねえ、どこに紐付けてっていうので2-2以降まとめって言うんだったら、
00:27:22	多分あんま変わんないのかもしれないですけど、何を補足しようとするのかっていう位置付けははっきりせず、
00:27:27	よく現れ始めると、これ何の補足だけっていうのが最後手元に残る可能性があるのもその辺りはちょっと整理しといていただければと。
00:27:37	はい。稲毛西尾でございます。はい。2-1、共通ルールが終わった後00の中でも反映定理の中で当然ながらおっしゃっていただいている通り、
00:27:48	別紙の5ですかね、補足が何度リンクしている補足なのかっていうのを、議会と整理をして計上させていただくことで、今ご懸念の点はクリアしていきたいと思ってます。
00:28:02	はい。清長田尻です。ちょっと参考2-2とかや、置いといて1月まで上流から行かせていただいて、つい再処理の話ちょっとすいませんは、
00:28:15	再処理の話は、今共通シリーズ、ちょっと12のところでは間瀬
00:28:20	地域じゃなかった
00:28:22	これ、後ろの方の、今日つけたやつも、まだ生煮えなんですという形で、
00:28:28	今日これ何までやりたいですか。
00:28:30	ちょっとそこまではっきりした
00:28:34	はい、二本木西原でございます。つけといてなんですが、すみません、来週真面目にやります、ごめんなさい今日は、現時点のものを、何らかアウトプットとしてつけておかないとなと思ってつけましたけど、まだすみません私も、
00:28:49	これでいくっていう説明の根拠も含めてご説明できる状態にないので、んならつけるだよっていう感じもしますが、現状はすみません来週もう1回やらせていただければと思ってます。

00:29:01	はい、規制庁の田尻です。
00:29:04	要は前回までにコメントしたやつが反映されてるかっていうと、
00:29:08	したのかもしれない。1点あるんですけどどう反映したのかとかがよくわからない
00:29:12	けど、中身の議論来週からでいいんですけど何か困ってる点とか、
00:29:17	あればさっき言っというてもらえばいいや、来週にいきなりやって進むかが、今の資料時点だとちょっと怪しさを感じるんですけど、何かここんところがちょっとっていうのって何かあるんですけど。
00:29:29	はい。弓削西尾でございます。今考えているのが、大きく変更点に着目しましてご説明はしていた会合にも行ってました。
00:29:39	その中で、新規規制基準の規則要求、変更にして不要不急の変更に伴うと新規性基準的にその他変更として、要求事項の変更行かず変更したものの。
00:29:54	あとは有力額っていうのを、項目を挙げて、それぞれを整理をしていこうと思ってました。
00:30:03	この設計の説明の中での相関性というか類似性というのも含めて、グルーピングをしていこうということで考えてたんですけど、
00:30:12	やはりまだ全部挙げただけで、現状挙げただけでかつ、統制がとれてないのが、後半部分はその他変更をどんと上げて、全部をバラバラにまず挙げてみたとき、
00:30:25	前半部分は新規規制基準の規則要求の変更を、何かよくわからないけど堀にグルーピングしてる状態、お互いの関係がまだフィットしてないので、
00:30:36	そこの整理を進めたいと思ってたところでしたって悩んでるところが何かあるかという点については、
00:30:43	正直ですねあまりピンでいて説明をすることがないなと思いながら今項目を品で立てているものが幾つかあります。
00:30:52	それを、
00:30:53	バー品で上げてそのままいくっていう手もあると思っているのであまりそういう意味では悩んでることはないですか。はい。
00:31:00	規制庁の滝井です。
00:31:02	とりあえず悩んでるところがないってところなんですけどちょっと少しだけ確認させていただいて今言った品で立つやつは、

00:31:10	何かどっかに入れて持ってやつがいるのは最後いるような気がするんで 置き飛ばしていただいて例えば10ページのところの3とかのところで 防護対象として、
00:31:21	こういうやつは何か、
00:31:28	あれやなとか言う。
00:31:31	はい、日本儀礼シェアでございます。そこが私が先ほど説明してまだ生 煮えだと言って整理ができてないっていうポイントでして、変更点に着 目をして頭から整理していくと。
00:31:46	今回新規性基準で外部衝撃が、新たに要求額追加されましたね、外部衝 撃のやつでどういう登場人物がいますかっていうのを挙げた上で、
00:31:57	それを縦に並べて、どれ、資料3をととか資料2を説明する中でどういう ポイントができますみたいな整理をした結果として、丹波が出てきてい るんであれば、
00:32:07	考え方も含めて説明できます。なんですけど、今結果だけが出てきてる 状態なので、その説明ができないんで今週は何も説明できないですって いうことを言いました。
00:32:18	そう言った通り、全部上げて、どれと努力増員としてどの説明が必要なん だど、いうことの整理をした上で、結果3番の中で全部包含できるか もしれないですし、いやこれは別にした方がいいんじゃないかっていう のもあるのかなあと思っていたところでした。
00:32:35	と古作です。
00:32:37	ちょっと、
00:32:39	石原さんの表現が悪かっただけだと思うんですけど、これは結果ですっ て言うけど、結果じゃないですよ、まだ検討してないんだから。
00:32:51	はい、野木西浦でございます。はい、そうです。
00:32:54	途中経過。はい。
00:32:56	はい、古作です。少なくとも機器の抽出をして縦に並べましたと。
00:33:02	縦にというか
00:33:04	とりあえず今ここに枠があったんで、そこに落ち込みました。
00:33:08	いう。
00:33:09	作業状況と理解をしましたけど、そういう意味でいい。
00:33:15	はい、日本ネシアでございます。はい。おっしゃっていただいた通りだ と認識をしています。

00:33:21	はい。補足です。
00:33:23	まず、このところだけ見ると、
00:33:25	これは無理だと思う。
00:33:28	ていて、少なくとも構造なのか、機能なのかとか、幾つかその評価のパターンがあったはずで、やはりそれごとに、全く構造としての説明も違って来るはずだから、
00:33:40	それはちゃんと分けましょうねっていうことだと思います。
00:33:48	はい、新居上西様でございます。おっしゃっていただいている通りだと思ってます。資料3で説明すべき資料見何回でも当然、構造設計なのかシステムの赤井設計か。
00:34:00	分類しますってさらに行動設計に来て、これが類似品と指定代表で何か説明できるのかみたいなものもありますので、そういったことを考えてどこまでどう分類をするのがいいのかっていうところかなと思ってました。はい。
00:34:15	はい、古作です。
00:34:17	田添さんに戻してもいいんですけど、5番も一緒だと思うので、あわせて整理をしていただいてと思う。
00:34:25	ちょっと
00:34:27	横やりを入れちゃったんで、
00:34:29	また戻しますが、この再処理に入る前まで、
00:34:33	まず、これ今、第1弾としてまとめて書いてますが、
00:34:39	ちょっとまとめすぎで、
00:34:43	再処理の話は置いといてまず MOX のダイエー、
00:34:50	グローボックス繋がり、
00:34:52	といったところの範囲のステップ1ステップ2っていうのが、まず1塊であって、
00:34:59	これが8月中旬目途と言っているんで、これを整理して次の会合に臨みたいっていうことだと認識を、
00:35:10	ていたんですけど、再処理の数分類も近いやりたい。
00:35:15	ということで、第1弾ってんですか。
00:35:23	はい、与儀西田様でございます。まず、おっしゃっていただいて、は、
00:35:29	嘘のものをごった煮しているのが今第1弾だと思っているのは私も同じでございます。8月の審査会合を目がけては、まさしく MOX の

00:35:39	第1ステップ第2ステップまで終わらせて MOX の説明グループの一番、これをかけさせていただきたいというのがもともと考えていることです。
00:35:49	最初にどこがどこに入れるかは、とはいえほったらかしにもできんなどと思って、入れてますけど、別枠だと思ってます。はい。
00:36:02	はい、古作ですって、これもさらに言うと、説明ペー分類の話は、図第1弾に入れておきながら、並行してやる。
00:36:13	前提の整理は大文章では第1弾に入れておきながら図では、その枠外で書いてあると。
00:36:20	非常に整理が悪い。
00:36:22	ので、私としては図の方が、
00:36:26	内容としては正しいのかなと。
00:36:29	思ってますので、時期にとらわれずにちゃんと何をやるべきかというタスクとして、整理をしていただければと。
00:36:41	はい。日本原燃瀬谷でございます。承知いたしました。ショート図を行ったり来たりした結果、
00:36:48	何が何だかよくわからなくてすみませんでした。第2弾の話と、第1弾の中でもボックスの話と最初に話いろいろちゃんと多分分けて、何をいつまでにどういうことをやりたいんだっていうのをそれぞれさんと書き分けるように整理をさせていただきます。
00:37:09	はい、古作です。よろしくお願ひします。あと、私からは先ほど補足説明資料、
00:37:17	について、2-2棟、3-2の関係とかっていう話もありましたし、そもそも後ろを見ると2-2って書いてあるけど2-1関係してんじゃねえのって。
00:37:28	なので、
00:37:29	1ページ目の3ポツ目では2-1に関連するものは、
00:37:35	このステップ2の中で説明しますと先ほど言われてたと。
00:37:40	思うので、
00:37:44	同ステップ2に入る前に、
00:37:48	第2、第1ステップで、
00:37:54	どういう説明方針であればいいのかっていう話をする中で、ここ補足入りをね、この補足は2-1-2-2の、

00:38:02	あとまた1なのと、
00:38:05	というようなことの認識とそれをいつ説明すんのっていうのが合うように話をさせていただいて、
00:38:11	そんなにに基づいて、第2ステップで、
00:38:14	必要な部分は説明
00:38:16	いうことにできればと。
00:38:19	一応石原さんのイメージをすることだと思えますけど、よろしいですか。
00:38:24	はい。与儀西田でございます。はい、ありがとうございます。イメージはなっておりますでございますので、進めていただければと思います。
00:38:35	はい、規制庁大変ありがとうございます。ちょっと自分中で
00:38:41	は、再処理の話や、
00:38:48	傾向というよりは何か全体として再処理、
00:38:51	言えば、
00:38:54	以外で何か聞いておきたいことがあれば
00:38:59	ちなみに館ですけどこの後、次の1ページのポツで出てくる溢水とか竜巻とか、
00:39:05	何やる話はこの後聞きます。それ以外でこの最終
00:39:14	今日はすみませんっていうことでしたけど、
00:39:18	どう進めるつもりなんだっていうのを、
00:39:20	お話するのがこの場なんですけど。
00:39:23	どういう見通しなんですか。
00:39:30	はい、生出志田でございます。はい。とですね。
00:39:35	おっしゃった、
00:39:36	出野通りなんですね。はい。
00:39:39	それを口頭でありますって、ラップ6分ときもあるししたけど、木原及ばずでございました。十時17って書きながらこれどうやって止めるんだって性の話を進めたいんだってところは、
00:39:55	口頭でも言えばよかったんですけど今のところですね。
00:40:00	SAじゃなくて、
00:40:02	先ほど田尻 OS 溢水と海外でっていうことなので、再処理の設計説明文、
00:40:10	伊藤と、

00:40:11	ということで、第1弾と言われていた部分について、どう進めるのかで、SAの関係は、十時17踏まえて反映していきまうってということで、
00:40:22	横から点線が入っている形に、3ページになっていてですね。
00:40:27	それは少し遅れてでもしょうがないよと思うんですけど、
00:40:32	この図ではその前にもやりますと言っていることがあって、
00:40:35	それはじゃあ何ですか、いつに何をやるんですかっていう戦略を聞いてるんですけど。
00:40:44	はい、弓削西尾でございます。はい。まず、再処理の設計部説明分類等と書いているところは、やらなきゃいけないところは今までMOXで出してきた、まず設計説明分類の話。
00:40:58	あとは、説明グループをどう組み上げていくのか、どの条文をどのタイミングで説明するのかということ。
00:41:07	あとは先ほど脳梗塞のリンクも含めてですね、最初については、同じようなものを全部そろえていくというのは今前提で考えておりました。
00:41:18	入口に、
00:41:20	最も入口の設計説明分類がまだご提示できてない考え方をもとにご提示できてない状況でございます、これを今、第1弾というところに書いてますが、今考えていたのが今後の進め方の今の
00:41:35	ヒアリングですね。
00:41:37	最大限活用させていただきながらこの中で状況説明なり今考えている考え方だったりどういう整理をしているのかというのを、を説明し、アウトプットとして最終的に共通に反映すると。
00:41:52	いう形をさせていただこうと思ってました。
00:41:55	へのきっかけ第1第1弾を今日しようと思ったんですけどまだ、進めてないという状況でございます、
00:42:05	設計説明文と考え方だったりどういうところにどういう方とどういう考えで押し込んだのかということもグルーピングを含めてですね、来週の前進め方の中でまず、ちゃんと説明をしていくと。
00:42:16	いうことをターゲットに、業務仕事を進めさせていただければと思ってました。
00:42:22	古作です。今で言うと、
00:42:28	この他、
00:42:29	区は8月中旬までを目途に作業しますと言っているんですけど、

00:42:35	今の話であれば来週目途、
00:42:39	になってる気がして、
00:42:43	この活動が非常に曖昧なんですよね。
00:42:47	2ヶ月分。
00:42:51	今 MOX がやっている表の形式、
00:42:56	と、8 ページまでと、10 ページ以降が、
00:43:01	違うので、これはまだ見直しができてません。
00:43:06	来週には MOX と同じようにしていきます。
00:43:10	アンダーの引き方だったり説明を、後段に振るものをここでカバーするものということは、整理をしていきますということでもいいですか。
00:43:25	はい。乳井上西屋でございます。これ手島清金井の枠取りをしてしまったのは、こちらの A 系、
00:43:33	乱暴なやり方でした。おっしゃっていただいている通り 3 ページの第 1 弾に入っている、三つ目のボックスですね、これが非常に曖昧であることは認識をさせていただきます。
00:43:47	ここをちゃんと業務をブレイクして、何をアウトプットをいつまでに作るのかというのを整理をさせていただきます。
00:43:56	おっしゃっていただいたように、来週フィックスピーチかという和多分そうならないと思ってますので、どういう順番で物事を組み立てていくかということも含めて、
00:44:07	来週の進め方の中で、しご説明できるようにさせていただきたいと思います。そのためにも多分、本文はちゃんと分けて提示をして、ご説明する必要が思っておりました。以上です。
00:44:22	はい。補足です。多分、先ほどの項目 3 号みたいなところの意識をするためには、
00:44:31	現状 MOX で整理をしたように、条文のさらに内数として、どこでどうするかっていうところまでの整理、
00:44:39	に全部行き着くとは思えないので、その意味では
00:44:45	どういうステップで検討を深める。
00:44:48	で、我々とは、
00:44:50	どの断面までクリアにしていきたいかと。
00:44:53	いうことを言っただかかないと、こちらとしても何をどう言ったらいいのかわかんないので、次回の資料では、わかるようにしてください。

00:45:06	はい、規制庁の田尻須賀ありがとうございますで1点だけなんですけど今後そういったやつがいっぱいいるのかわかんないんですけど、この今後の進め方のところで、今みたいにちょっとオーダーみたいなやつが、
00:45:18	スケジュールにそれ書いてもらおうと、今の丹羽
00:45:23	フローズみたいなやつだと、どこって感じがするんですけど、後、せっかく日割りのスケジュールつけていただいているので、そこでここでやるんですよっていうのがわかればもうちょっと、うちはこのタイミング来そうなのねっていうのがわかるので、
00:45:35	それでこのタイムで大丈夫っていうのもまた議論がしやすい気がするので、ご検討
00:45:42	はい。宮城西田でございます。はい。それぞれのタスクブレイクした上で、アウトプットのイメージがわかるようにして、後のスケジュールとリンクをさせていただければと思います。以上です。
00:45:55	はい規制庁谷ですよろしくお願いたします。
00:45:58	1ページにちょっと戻らせていただいて、
00:46:00	ポツのごめんところちょっと最初に話さっき飛ばしたやつに入ってくる
00:46:05	けど、制度竜巻と溢水があって、竜巻は後で何か別の進め方資料があるんです。
00:46:12	で、ちょっとさっき溢水に関してなんですけど、
00:46:16	ちょっとあまり、いまいち理解がし切れなかった
00:46:20	等、
00:46:21	全体ぼいやつが三つ分かれていて、前提の整理十時17と設計考え方の整理等っていう多分竜巻が一定で00資料別紙14みたいな形になってんですけど、
00:46:32	ここで言っている別紙1400資料溢水っていうのは、この間まで話されていたように、過去に出ているコメントに関して、00資料の、
00:46:44	00資料の記載に合わせながら説明していくっちゃうことかな。
00:46:48	ここで言って別紙4、
00:46:50	9の
00:46:54	はい、宮城西浦でございます。ここはすいませんまだ、社内でも意見が統一できてなくて私の気持ちは別紙1です。ただコメントがですね別紙よりも深いところがあってそこも含めてある程度コメント。

00:47:09	を踏まえてどうしてるかと言うことがないと、資料3までの書きぶりが、これでいいのかっていうスタートが切れないので、糸井委員も別紙4まで入れさせていただいてございました。
00:47:23	以上です。はい。規制庁、館です。
00:47:27	あと共通12とかと、
00:47:30	どこの花
00:47:32	その教授に選任する上での方針の整理みたいな形なんで別紙1であるけどそこにも、
00:47:39	合わせ
00:47:41	たいんですよ。
00:47:44	はい、乳井西尾でございます。はい。おっしゃっていただいている通り認識でございます。
00:47:49	清と谷です。これは8月中旬っていうふうになってるんですけど、これは8月中旬までに、SEが終わったらそこに行くからっていうのでは、
00:48:01	はい、弓削西浦でございますはい。おっしゃっていただいている通り清の中でやらなきゃいけないことちょっと兆しが見切れて恐縮ですけど。
00:48:09	設計分類の話が上に矢印伸びてるところ、それ以外に雨水等のDBと合わせて評価をするといったようなものSABの仕分けの話、あと添付書類の構成の話っていうのはあるんですけどこの2番目の項目が、
00:48:23	溢水とリンクするところもあるのでこの2番目の整理の結果を踏まえて、それから、この伸びている矢印の意味にしてみました。
00:48:34	はい。規制庁土肥です。僕あります。
00:48:37	17回末のバスがどのタイミングでできるのかっていうところな気がする
00:48:41	んで、流れ的にSAのちょっと悲しいを確認できればと思うんですけど。
00:48:49	さっきあればお願いします。
00:48:55	規制庁の藤原です。衛星関係で、先というわけではないですけど、今回口頭で説明は受けたんですけど、
00:49:07	来週には設計説明分類をお聞き、説明していただけるという理解でいいんですけど。
00:49:18	はい。与儀西原でございますまずそこも先ほどの上のタスクをですねブレイクしないといけないと思っているところというのが、先ほど来週ご説明するっていうのがBの範囲。

00:49:30	かなり限定をかけてましたので、そこも含めて、全体ブレイクして、いつ何がお示しできるのかを説明を来週させていただければと思ってます。
00:49:42	基本設計説明分類の考え方の整理は、17をキックにしてやろうと思ってましたのでどちらかというウエイトは、大南の前にいる7月中旬以降の十時10名とただ
00:49:56	考え方は、7月中旬に限らず、前々から出せるものを順次、この場を使いながらも尾野説明をさせていただければと思ってました。以上です。
00:50:09	はい。規制庁の藤原です。まずちょっと、
00:50:15	ちょっと、もう皆ベースというか、少し年中に出せるものという、
00:50:22	ご説明はあったんですけども、分類を、何か事ではゴル古今類で話を進めたいという話もあってそういったところって許可のときにはあまり、
00:50:35	私はこちらはしてなかったのそういった点はむしろ早目に聞いた方がいいのかなと思っていて、なので、説明できるところから早い目がゆえに、こちらに提示いただいと。
00:50:46	いう形で整理していただけたらと思います。とりあえず私から以上です。
00:50:51	古作です。今の点は前回の進め方冷やで話をしたはずで、
00:50:57	7月5日に十時17提出しますというのを、
00:51:01	それまで待たずに、
00:51:03	概略でもちゃんと説明してもらわないと。
00:51:07	話がずれるよ無駄作業になるよという話をしていたところ、
00:51:11	わかりましたと言ってたところが十時17番1週間遅れになったと。
00:51:16	それについて何の説明もしないと。
00:51:19	どうなってるんでしょうか。
00:51:27	はい、乳井西原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思ってます。3ページの7月中旬と書いたら1週間見事に出したのは、こちらからやったことですので事前にご説明をするべきでした。
00:51:40	先ほどの今後の進め方、ヒアリングを活用しつつ、もともと7月5日に資料提出は、今日の時点で、どういう考え方でというのが、

00:51:53	お示しできることを前提に組んでましたので、そこも含めてスケジュールを見直しをさせていただいてましたこちらが勝手に遅れていった結果だという認識もごさいます。はい。
00:52:07	古作です。十時 17 を提示するのが遅れるのは別にどうでもいいんですけど、
00:52:13	この前段でやることのステップをちゃんと行ってこないっていうことに私は問題を、
00:52:24	はい、宮城石原でございます。はい。そこも含め前回お薬、前々回お約束をしてこの
00:52:34	今後の進め方のヒアリングを使いながら、どういう整理をしていくのかと。
00:52:40	いうや神保が見ながら、どういう定義をしていくのか。
00:52:46	ああいう進め方をする過程の事前に、この場を借りてやらせていただくという、こちらからお願いをしてやりましたので、そこも含めて、
00:52:56	全体家性がうまくいってなかったことは申し訳ありませんでした。
00:53:01	来週には確実に何らか説明稼動していくのかというのを先ほど最初に設計説明ぶりのグループと一緒に、整理をして下ご説明させていただきます。
00:53:13	はい。補足ですよろしくお願ひします。それで言うんですけどねちょっと話が飛んじゃうかもしれないですけど、
00:53:20	最後の参考 3 の、
00:53:23	スケジュール表なんですけど、
00:53:26	今後の進め方の話が、資料名として今後の進め方っていうだけになっちゃってるので、
00:53:33	その中で何をしたいのか全然わかんないんですよ。
00:53:38	ていうところで今みたいところの問題が浮き彫りになってこないっていうことのような気がすんですよ。
00:53:45	これで書きましたって思っているんですけど、こちらには伝わらないっていうことで、
00:53:51	括弧書きで何をやりたいかを書くなり、
00:53:56	今回の竜巻のように別資料作っておくなり、
00:54:00	少なく、
00:54:01	これでやること。

00:54:03	どう進むのかってのがわかるようにということでお願いします。現時点だとそこ末、何をいつやりたいかもまだちゃんと分析できてなかったっていうことのようなので、
00:54:14	来週はその分析をしてきますということですから、表についても同じようにわかるようにしてください。
00:54:27	はい、弓削西尾でございます。はい。先週の時点でも SA を出しますとか竜巻出しますも含めて、
00:54:35	今回も書かせていただきましたおっしゃっていただいている通り、何をどういうふうにやっていくか。
00:54:42	て立派できていれば当然そういうことをちゃんとお示しをするということだと認識をしています。そこまで追いつかなかった結果が、今回の今後の進め方でご意見を書いただけというのが、今後も続いてますけどそこは
00:54:56	先ほどお約束をした業務のブレイクなり、アウトプットの整理をして、三つ何を提示をさせていただくのか、今後の進め方の中でやらせていただくのかを、
00:55:07	学校が嫌いなんなりでブレイクして計上させていただきたいと思いません。以上です。
00:55:13	はい。規制庁小阪ですよろしく申し上げます。それで言うのですね、昨日の資料提示今日のヒアリングでっていうの2、最初に竜巻について急に入れまして申し上げれませんかと言っていましたけど、
00:55:26	全然申し訳なくなくて、先週やるって言ってたんだから、ここに反映するのが遅かっただけっていうことであり、何も問題はなくて逆に十時。
00:55:38	重大事故が入ってこなかったっていうことの方が申しわけありませんので、
00:55:42	そういうところも認識を少し、
00:55:45	改めていただいたらいいかなと思います。
00:55:54	はい。日本原燃石田でございます。はい。承知いたしました。はい。冒頭、尾山森下のもうスケジュール感の問題で、はい。ごめんなさいって言ったつもりでした。
00:56:05	はい。
00:56:10	はい規制庁谷井です。

00:56:13	峯のため確認なんですけど、これ、十時 10 名の中で、溢水の方に渡瀬先生の所ケーン要は防護対象はどうなのかとか乗せると、
00:56:25	要件が
00:56:26	ある程度固まるでいいんで、
00:56:31	はい、井手所長でございますはい、固めます。はい。
00:56:35	はい。規制庁館です椅子に関して結局素行のパスをもらわないとスタートが切りづらいところがあるので、ちょっとそれがどのタイミできるかとかっていうのをちょっと SA の様子見ながら
00:56:51	はい、規制庁館です。1 ページ戻らせていただいて、とりあえず第 1 弾って書かれてるものに関しては一応これぐらいの状況になってるかなと。
00:57:02	第 2 弾以降に関しては、若干ここまで来るとどのタイミ
00:57:10	越冬
00:57:11	3 ページに行かせていただいて、3 ページのところ、今第 1 弾と横に並んだ再処理のやつ前提整理の話があって、ちょっと溢水が対応少し、
00:57:23	第 2 弾の話があった時に上のところで 00 治療への
00:57:32	新しい良いの。
00:57:35	もう一度、
00:57:41	π よりに重要でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。資料 3 の文の中で添付書類基本設計方針添付書並べてそれぞれの構造設計等を説明して、
00:57:54	添付書類の記載を見ながらそこにギャップがある場合は、配慮事項だったと思いますけど項目を起こして、ここに、添付書類側にこういう設計方針がないと繋がらないよということの意思表示をしようと思っております。
00:58:08	そういったものを実際の別紙 4 側に反映するといったような作業をさせていただこうというのがもともと考え桁ベルゾ資料への反映でございました。
00:58:18	長谷です。
00:58:20	一覧の時点で添付になれば
00:58:26	直したやつが、

00:58:27	とりあえず資料提出があってこれだけでヒアリングをいっぱいしたいっていう話でもなく、
00:58:32	単にの人等に進むの前提になるので、この単位で書いた
00:58:39	はい、新居上西様でございます際、ご質問の趣旨としておっしゃっていたいただいた通りでございます。
00:58:45	はい。センター
00:58:47	で大事だって中身を固まったものを反映するだけっていうんだったら別にこういうふうに出ませんか。
00:58:54	最後について、何かいきなり出てきてすぐに飯野に行けるかどうか不安だったわけなんで、その前段部分がある程度話が終わっている。
00:59:01	といいなということで、
00:59:04	衛藤次にすいませんこの記載のところでなんですけど、
00:59:08	3のところ、3ページのところで生徒がやっぱそれ、記載ぶりが配布書類の記載修正等って言うてるんですけどこれもC層ですかね。
00:59:19	はい。乳井ネシアでございます。はい。この中で、先ほどの書き分けの花の仕分けの話、あと添付書類間の構成で、
00:59:29	共通的な、
00:59:31	返戻性等個別の説明書の役割分担だったり一定の整理をするのが1027でありますんで、これを展開をするというのが、
00:59:42	共通順位の前提になるかなと思って間を入れておりました訂正にしての先ほどの00資料の反映と同じでございます。
00:59:50	はい。すいません。規制庁古作です。
00:59:54	共通順位は前提って言われたんですけど、
00:59:57	前提にするなんていうのがこれまでの、
01:00:00	このヒアリングでの話。
01:00:02	だったんじゃないですかね。
01:00:05	どうせまたやり直すよ、共通順にやったらっていうことであって、
01:00:09	何ステップも踏みたいってことなんですか。
01:00:17	はい。乳井西様でございます。はい。
01:00:23	どこまでこの十時17を整理した結果、現状の添付書類の説明内容と乖離が生じるかによると思ってました。定年制にしたのも、
01:00:34	本当に必要かどうかの判断がここで入るというのもちょっと考えていたところでもあります。はい。

01:00:42	古作です。その点では、先ほど田尻が言ったその第1弾から出てきた。
01:00:49	ところでの00資料への反映も含め、なんですけど、
01:00:56	原燃内で作業するのはそれはそれでやっていただいたらよくて、ただヒアリングするかって言うと、
01:01:03	中途半端なものでヒアリングしてもしょうがなく、そのあとの2-2の中にも、00資料評価方針等というのがあってですね。
01:01:13	こういうところでもやはり反映事項が出てくるはず。
01:01:17	なんです。
01:01:18	そういうのを一式見ないと、カタマこれで大丈夫だねというような確認のヒアリングにならないので、提示いただくのは52ではありますけど、
01:01:31	ヒアリングはまとめてやったらいいんじゃないかなというふうに思っています。
01:01:36	ます。
01:01:37	が、いかがでしょうか。
01:01:41	はい、二本木西浦でございます。緊急でございます。まず訂正にしたのはここでヒアリングをやっていただきたいという意思表示ではありませんでした。等で実線と点線を分けさせていただいたのがあの書き方で、すみません、凡例持っていないようで恐縮です。
01:01:56	ここはあくまでも、これとして、こういう作業をやって次のステップに進むということを入れてます。理由は、
01:02:05	8月10日終わって9月上旬から駒井が何やってんのって話もあって、我々の作業としてこういう確認をした上で、2-2に入りたいたいというのもあって、
01:02:17	点線で書かさせていただいたところでございます。以上です。
01:02:22	古作です。
01:02:27	作業としてやっておきたいということで、大丈夫ですかね。2-2の話をして、
01:02:37	最終調整が入ると思うんですけど。
01:02:45	はい。いうネシアでございます。今古作さんがご配慮いただいているのは手ごろになるんじゃないかっていうところだと思います。ここも含めて、もう少し考えさせてください。

01:03:00	常に最新の状態にしておきたいなという思いはありますけどとはいえ、2-2に入った時に結局マター修正が要るとなる等、また、
01:03:11	修正をしてってという繰り返しが入るので、それがまた作業として手間になるところもある可能性は十分おっしゃっていただいていると思います。そこは、こちらでもう一度お考えさせていただきます。
01:03:26	はい。補足です。
01:03:28	私が心配したのは並行してやるのはいいけど、これシリーズにするとずるずるいきかねないなあということもあって、sonだけ固執してやらなきゃいけないことでやってってということなので、
01:03:41	少し整理をしといてもらえればと。
01:03:44	います。
01:03:47	第1弾の後の00もそうですし、SAの方の十時17を踏まえた添付
01:03:55	で、同じく、先ほど話になった溢水のところ特に別紙4なんかも同じ。
01:04:02	です。着手するのは構いませんけど、基本はまずは共通12の中で、どれだけのそれぞれの項目の重要性があるのか。
01:04:14	詳細化が必要なのかと。
01:04:16	いうことを認識を合わせた上でそれぞれの書類整備入ると。
01:04:22	というのが基本かなと思ってます。以上です。
01:04:29	はい、日本石原でございます承知いたしました。
01:04:34	はい、規制庁とりされ等ございます。
01:04:36	で、
01:04:38	1ページに関して言うと、そのあと、第2弾は今とかで話したところでほぼ終わりだと思っていて、第3以降は順次やっていくってところですね、他社の一定高
01:04:48	けど、今最初に関しては来週になって御説明分類のは、
01:04:53	で、そこが固まり始めたらどの順番でという説明
01:04:59	それを見越した上で目途の関係も整理されて
01:05:04	はい、与儀西原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。まずは、最初の設計説明文の業務をブレイクして、アウトプットを決めて、何ができたらこれがまた定義が必要になるかもう、定常させていただくことと思ってます。はい。
01:05:25	ないです。
01:05:26	多少ある。

01:05:29	で、1 ページの 2 ポツ、
01:05:32	話なんすけど、2 ポツの
01:05:43	結構、
01:05:44	駄目で書いてこられたか。
01:05:49	何させていたきたいんですけど、これ例えば今、4 条のところで一番上のところは書かれていてこれグループ 3 というふうに全部書かれていて、
01:05:57	上のところに注釈でアスタリスクがついているやつは、各評価項目において代表で説明
01:06:05	して、
01:06:16	はい、二本木西田でございますとですね 4 条の 5、これ超過項目の見ていただきますと 4 条の 22 で展開と書いてあって、4 条の 22 に行くと、赤リスクがいます。
01:06:27	ということです。
01:06:28	24-234 条の 24 条の 25 も同じように、26 とか 22 飛ばしますというどっち側で%リスクが出てくるという整理にしてみました。
01:06:42	話になる
01:06:45	やつ。
01:06:50	例えば今 4-22 って言った
01:06:53	置き換え
01:07:02	透析って言われるんですかね。
01:07:15	はい。新居上西屋でございます。4 両の 22 は、
01:07:23	システム設計も同じようにその次の段で、アスタリスクついてますよね。どういうこっちゃ。
01:07:32	いえば、言われたのは、4 条の 22 の 2 段目のところ、40-22 が、4-5 のした二つ目にいると思うんですけど、
01:07:43	そのところでシステム設計ってどこついてますか。
01:07:46	24 条の 26 とかに行ったらもうシステム設計
01:07:55	あ、ごめんなさい、左端にいるのか、村長の中に、ごめんなさい、左端にするところというのは、
01:08:01	はい。
01:08:02	というのは機械装置のシステム設計は、

01:08:06	受けるところがないけど他は受けるところがいろいろあるところになるんですか、なんか。
01:08:11	だから全部展開しますよっていう形になってきて、
01:08:14	本庁の方でシステム設計に印がついているような
01:08:17	中についてないやつ。
01:08:35	古作です。
01:08:37	ちょっと補足してもらえればいいのかと思うんですけど、まず、この何々にて展開といったときに、何でそっちに飛ばせるんだ。
01:08:48	要求違うんじゃないのかというようなことがあって、
01:08:53	何でこういうような扱いしてるのかの説明をまずしてもらえますか。
01:09:10	はい、日本原燃石田でございます。これ、核的制限の徹底っていうことに対しての評価をして、かなりすいませんこちらから出しといて言うのも出てきますけどそういう意味で整理が必要だとまだ、
01:09:25	言ったのは、かなり強引にグルーピングしてるところがあるので、そういう意味で、たくさん言われたように、同じ核的制限値の設定であってももう絶えず NEAT だったりいろんなものを要求が違うのに、何でこれで要求が、
01:09:40	グルーピングの代表できるとかっていうところだと思うので、というところの整理をして提示をさせていただきます。この考え方を示した上で、はい。
01:09:51	はい、古作です最低限今やってることという、基本設計方針の番号っていうのは、同じような話でも何度も繰り返していったものがあるので、
01:10:03	類似のものが複数出てきますと、
01:10:07	類似のものを複数出てきたのを一つ一つ説明してるのは、累計の
01:10:13	趣旨に合わないので、その点では評価項目の表現として、単一ユニットだったり質量管理、形状、形状寸法管理と、
01:10:24	というような要望で整理をしていったところ同じ評価項目のものは、まとめて説明しますと、
01:10:33	いう古藤だと思う。
01:10:36	たんですけどまずその理解はいいですよ。

01:10:39	はい。与儀西浦でございます。まずおっしゃっていただいた通りでございます。結局は単一ユニットなりのある設計をしてその評価をするといっても、システムとして、
01:10:53	絶えず構造質量管理という全体の枠で評価をしたりするので、
01:10:58	基本設計をし何度も同じことを繰り返す月、設定の仕方を順番に書いている基本設計方針があると、結局最後の集約されて、全体をまとめて評価をしますよみたいの基本設計方針が紐づけてそこに全部集約されたりするので、
01:11:14	そういうこともわかるように整理の考え方なりを書かさせていただきたいと思います。はい。
01:11:22	はい。
01:11:25	本店で
01:11:28	核的制限値の質量管理形状寸法管理については、4条の22で
01:11:37	の説明を中心に代表していきたいと。
01:11:41	いうことで
01:11:44	その点で4-5だったり4-24。
01:11:51	というのがそういう形で展開とされていると。
01:11:55	いうことと理解をしましたがそこで田尻が確認したのはシステム設計とか構造設計ってところの分類が合ってますかと。
01:12:06	というようなことでの話を見ていければと。
01:12:10	いうことで、
01:12:13	4-22は、質量管理と形状寸法管理が、2行に分かれて書いてあってですね、それで片やシステム設計片や構造設計ってなっている。
01:12:25	ですよ。
01:12:26	一方で4の方はそういうことが書かれてなくてシステム設計だけに寄っているということなんですけど、
01:12:34	こちら辺はまだ十分練れてないからこうなっているということなのか何か意味があるのかっていうのはどうなんですか。
01:12:42	はい、二本木西田でございますまず前提は、まだ練りきれてない結果だと思ってます考え方等であって、整理はしてますけどまだその考え方が、
01:12:52	ルールに詰まってない状態だと認識をしますので整理をした上で改めて提示を、考え方として、

01:13:01	計上させていただければと思います。以上です。
01:13:05	はい、古作です。質量管理についてシステム設計だけで本当に言い切れるのかっていう疑問はあってですね。
01:13:15	そういうところを踏まえないと納得感が出てこないってことだと思うんで、いつ議論するのかっていうのがあるので、
01:13:23	そういうのも含め、
01:13:25	補正
01:13:26	どうしていどう議論していきたいのかっていうのをまとめていただければと。
01:13:30	ます。
01:13:35	はい。はい、二本木西屋でございます長期いたしました。はい。質量管理枠があって、そこに入る。
01:13:43	系統としての管理があって、その組み合わせで、
01:13:47	委員会の管理所ってところが、おっしゃる通りだと思うので、そこも含めて、どういう整理なのかというところは説明できるようにさせていただきます。
01:13:56	はい、古作です。そういう点では、具体はやっぱりその、その部分の共通12がないと話ができないのかなとは思いますが、で、あわせてなんですけど先ほど来メイン。
01:14:08	が一振って振ってないっていうのをシステム設計だったり構造設計だったり、或いは違う。
01:14:14	機器分類のところに入っていたりと。
01:14:16	ということで混乱してて本当にこっちで代表でいいのっていうのが疑問がわくところなんだと思うんですね。
01:14:24	そこのこの表ではわからないので、共通中にす。
01:14:31	この、例えばここで言うと、
01:14:34	核的制限値質量管理についてってことで、
01:14:38	関連するもの並べた中で、これで代表できるねというような話を見ていて、この表に落とし込んで、
01:14:48	まとめていくっていう古藤の方が認識ありやすいのかなと思いましたが、そういうことで大丈夫ですか。

01:14:59	はい、弓削石田でございますはい、ありがとうございます。はい。この表を作りながらどこでどういうふうを示していくかおっしゃっていただいている通りだと思います。
01:15:08	今日提示の本丸がないと、やはりなかなかそういう人、
01:15:13	タイミングだったり、整理の分類だったりってのが正しいかどうかが見えないので、そこはおっしゃっていただいている通りの提示をさせていただければと思います。以上です。
01:15:24	はい、古作ですこの表はおそらく共通 12 を作る前段で原燃としては作業で使うと。
01:15:31	いうことだと思いますけど、ヒアリングとしては共通授業をやって、それを踏まえて、こちらも反映されて、
01:15:40	最終漏れのないということを説明していってもらえればいいかなと思います。よろしくお願いします。
01:15:51	はい、規制庁丹治さんありがとうございます頭整理に行きまして何かこういうのを作りますよっていう話で結局、今話にありましたけど 40
01:16:00	設計法人
01:16:01	に横にいながらみたいな。
01:16:07	ただ共通住民とも関連づいてこれが整理され
01:16:13	精査をされて、
01:16:22	どうもすみません。
01:16:23	読み方になってしまって、
01:16:26	はあるんですけど、
01:16:29	例えばなんですけどまた頭からなんですけど、
01:16:34	違って設計して、
01:16:35	にですね上がって、
01:16:37	でいいのか。
01:16:39	けど、
01:16:41	じゃあ説明。
01:16:42	245 と。
01:16:43	ただ出て
01:16:44	くるんですか。
01:16:45	これ。
01:16:59	はい、実現象でございます。はい。これはですね。

01:17:07	えーっと、
01:17:09	パワポの方になってる、5 ページからの、50 円。
01:17:15	浴びているテレビとは僕じゃないの 6-27 条か、これが出てくるのがおっしゃる通り 5 ページの第 1、1 ページ目グループ 1、佐藤は、
01:17:28	にもあったよ。
01:17:30	列名グループにも同じように、耐震が絡むそれぞれでどれを代表にしますかっていうのが、括弧書きで書いてありますのでこれを代表にやりますと。
01:17:42	ということという意味で、関連は全部関係当然耐震ですので、関係が出てきて、現状のグループ 1 を代表にして説明を展開すると。
01:17:56	ということで、今は 2-2 に変わるものは、
01:18:00	説明グループ的にはってグループ 1 の完了後に、先ほどあった 2-2 の、等って書いてある指定に入っていることで、仮の日の閣議後、
01:18:11	お得をを整理して同じように説明していきますよってというタイミングを提示させていただいてますので、
01:18:17	説明グループ 1245 というのが先ほど 5 ページからのリストで関連条文なのか、主要部の中に入っているものが書いエントリーされてますんで、
01:18:27	どこを代表にするかで、それぞれ詰め時期がセットされていると、いうような整理をしました。
01:18:35	規制庁の館です。まず 5 ページ以降の表に関連づけてますよっていうところで耐震に関して言うと、2 のところで耐震が別の説明グループになっちゃう
01:18:49	耐震、それぞれのところで関連条文で書いて
01:18:54	後ろの方に行ってた。
01:18:57	24 とか 25 って書かれてる。
01:18:59	要はこの観点についてはグループ 2 で説明する。
01:19:04	電話よ。
01:19:08	24 とか 2 号と、
01:19:18	すみません、規制庁小阪です。
01:19:22	若干説明等、資料回ってないような気もするんですけど。
01:19:27	最初の耐震建物 01 でいうと、

01:19:32	説明グループ 1245 と言ってますけど、2 と 4 は、説明条文になってないんですよ。
01:19:39	なので、
01:19:42	関連長文と全部書きちゃったっていう場所があって、そうすると、
01:19:48	どこで何を説明するかっていうの説明がちゃんとできないので、
01:19:52	口頭で言われたように、1 と 5 ですと、
01:19:56	市ではこういう説明をここではこういう説明をと。
01:20:00	いうのがわかるようにしていただかないと、
01:20:03	整理している意味がないかなというふう
01:20:08	はい。日本原燃石原でございます。はい。私も説明しながら、パレットを持ってました。はい。おっしゃる通りですね。はい。そこのリンクはちゃんと取って、整理を、
01:20:19	詰めたいと思います。はい。
01:20:23	規制庁館です今言っていた通りで番号の羅列だけだとわからない時があるので、括弧書きなのか何なのか。
01:20:36	医療の意味合いとしてなんですけど
01:20:39	0 瀬野資料において、基本設計方針とか説明し、
01:20:43	添付等の関係
01:20:48	から内容等っていうのは、そこのやつとリンク、
01:20:52	他の番号が書いてあるんです。
01:20:56	要はこいつがあってそれが今共通中には、
01:21:00	繋がりますよというのがさらにここ
01:21:05	はい。人間の石田でございます。やらなきゃいけないと思ってるのはそういうことです。はい。ただ、現状まだ合っていない可能性があったので、精査中という形で、
01:21:15	話をさせていただきました目立ってきたところはそういうところで、はい。
01:21:19	はい規制庁丹治です。なんで本文添付補足の繋がりが 00 桐野別紙 5 でわかっている、さらにそこんところの、
01:21:27	番号と共通中のどのタイミングで何を説明するのかってのは、
01:21:38	ちなみにすいません精査中っていうのは、
01:21:42	これ引き続きこいつはここで説明される。
01:21:45	ヒアリング説明。

01:21:48	12 のどっかにこの
01:21:54	日本原燃賞でございます。
01:21:58	挙げる場所役割も定義させていただきます。プリニーファイルにはまだ辛いなというところもあって、はい。今後の進め方で提示しつつ、最終的には何か教育上に何なりやるか、
01:22:14	他のところに入れるか、何かちょっと考え方を整理して位置付けを明確にしたいと思います。はい。
01:22:22	ちょっと2です。この内容、最初の頃にあった要はステップ1のタイミングで、どの資料で何まで説明
01:22:31	では補足資料のどこで、この
01:22:39	いずれ共通12とは関連づいて、
01:22:42	谷中店。
01:22:45	今の時点ではっていう、
01:22:49	その辺りに関連する気が
01:22:50	でご検討いただければと。
01:22:57	はい、稲毛西山でございます承知いたしました。
01:23:01	規制庁古作です。同じことだと思うんですけど、現状16ページの耐震は全部2-2ってなってるんですけど、
01:23:11	2-2だったらこれ、ここまでこんなに細く云々って言ってなかったはずで、
01:23:19	評価手法濃く書いてあるけど実はその前段に設計方針があって、
01:23:24	2-1ではっきりしなきゃいけないこと、或いはその前の1ポツの話。
01:23:29	のことと、
01:23:30	ということが多分に入っていったんだと思うんです。
01:23:34	なので、
01:23:36	補足タイトルとか、
01:23:39	から、その議会的にやると痛い目に遭うということだろうなあと。
01:23:44	思うので、ここ、精査はする必要があるかと。
01:23:49	います。
01:23:52	定数けどこれも結局はここの精査といったときにはここでやってもしょうがないんで、共通12の資料3も見ながらと。
01:24:02	ということなのかなと。主には資料2だと思いますけど、資料に資料3でと。

01:24:08	いうことでいいですかね。
01:24:13	はい。弓削石田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思いますもう一つの精査は、
01:24:21	観点はおっしゃっていただいている耐震が全部2-2だということ、私自身もクエスチョンがついてますので、2-1に入るべきものが要るんじゃないのかっていうのも含めて精査をさせていただきます。
01:24:35	あわせて
01:24:37	資料に資料3で評価の項目5、構造設計等の設計の項目に対して関連するものが何なのかっていう、ひもづけの整理も、
01:24:47	説明をしないといけないところの抜けに入りますので、そういったところで、
01:24:51	この補足はここにいるんだよねみたいな話は、対話になると思ってますので、どこまでちゃんと整理をしていくということだと思ってます。
01:25:00	はい。補足です。一方下の方の火山に行けば、フィルターの性能って2-1なってるけど、
01:25:08	名前からすると2-2じゃないって感じがあって、ただ、こういう拝聴するのでみたいなことがあるから、そこはニノイチだろうなど。
01:25:17	結局、新野一井が初出ですという意味ではいいのかもしれないですけど、そのあともありますよねっていったところは、わざわざ資料あげる必要もないと思うんで認識を合わせていければいいかなと。
01:25:36	はい、乳井瀬谷でございます。ありがとうございます。おっしゃっていただいた点は理解をしました。はい。
01:25:45	規制庁上出です。耐震の話出たんで、ついでにお話をすると、2-2っていうのは、全部新野に行く伸ばして、
01:25:55	例えばその波及影響、
01:25:58	の検討対象とやって選んだかってどういうものが出てきたかっていうのは、1ポツにも出てくるようなことですし、あと既認可からの変更点としても、1ポツで話をするようなところもありますから、そのあたりもう少しちゃんとの、
01:26:14	精査をして、そうすると、今度共通12の完了後じゃなくて、合わせて見なきゃいけないものが出てくると思いますから、そのあたり
01:26:24	きちんとスケジュールを立てて、石塚、

01:26:29	はい、新居上西屋でございます。はい。ありがとうございます。そうですね。おっしゃっていただいている耐震綺麗に 03 みたいなものは、
01:26:38	これは、例えばですけど、外竜巻 02、これ 1 になってますけど、これ対象施設をどう、どういうものであるかって考え方。まさしく、耐震化でいう耐震基準で予算と同じフェーズ、
01:26:52	思ってますので、2-2 と書いてますが本来これ 1 じゃないのかというような考え方でもあると思ってます。はい。ので、全体見て、考え方を統一して、整理を進めさせていただきます。はい。
01:27:10	はい。規制庁の谷です。統制を説明していきます。はい。
01:27:16	規制庁の田尻です。
01:27:18	ちょ、自分の方から 2 ぽつまで以上なんすけど、1 ポツ 2 ポツに関連して経常側から何か他にあればお願いします。
01:27:33	はい。規制庁谷です。
01:27:35	次 3 ポツですね竜巻は後っばいから。
01:27:39	サポ II について、目で説明して、
01:27:43	お願いします。
01:27:50	神戸でございます。担保細菌感染店の佐古一平の長ですけども、こちらご説明差し上げます。ここで書いてございますのが先般のインター開口での、
01:28:05	お話の次のステップとして、こういうことをお開きして参りますと、要はスケジュールで今
01:28:17	わかっているところをお示ししているところということでな、我々の中の頭の整理としては、まず、ここまでの支援、
01:28:29	下手会合ですとかヒアリングですとかでご確認いただ過去にいただいた内容を踏まえて参って、今までお示ししてきた補足説明広井なるべき、A4 の資料は、
01:28:46	この負債の拡充が必要という記載の
01:28:53	前段からの整理が必要と、というようなところをコメントもいただいて我々もそれに引きをしたところでございますのでそういう調整をかけて、ちゃんとですね、各委員費についてどのように決定することが一般的標準的なのかを、
01:29:09	整理して、そのですね、それぞれ基本モデルの設定の時には、どのような考察判断また根拠をもとに、一般的標準的な設定となったのかと。

01:29:22	いうところをちゃんと書き下すというのが大事だと認識しております。またデータバックとの足らずと、これもご指摘いただいているその関係は、
01:29:33	ということで、まずはですねちょっと減衰は具体的な中身を検討が入りますのでそれはちょっと次のところでまたお話ししますがその他の
01:29:45	につきましては、そういうところの両立を資料について図る必要があるということで、これ、少し丁寧に作業する必要があるかなと思ってますけども、
01:29:57	土肥刀禰でスケジュール的には、7座の病院に資料提出、1週間後なりに議案いただくと。
01:30:08	いったような
01:30:10	スケジュール感を今、考えて、我々っていうところでございます。それが1番目に、
01:30:17	2番目これが、ぜひこれから
01:30:21	大変なところなんですけど月曜水に係る検討を、につきまして、その対角上の検討していくところの話でございますけれども、
01:30:32	これは、
01:30:38	ここ、検討して参りますという話を我々させていただいたところでございます。柱が二つありまして、鉛直割地震観測のこれまでにやってきたデータの分析でございますけども、これをですね、
01:30:52	異なるやり方でも分析をトライすることで多面的にやっていきたいということでこういうやり方をですね、今、危険がある電力さんに相談に乗っていただいたりそれから、
01:31:04	実際にですね、実施いただけたところにちょっとどういうふうにやっていくかというところをご相談できる所あると、いうところでございます。こちらの方はですね検討の方向性につきまして、6月末までに資料をご提出してその副長に気合いいただくと。
01:31:23	ということが入ってございます。
01:31:24	もちろんそこではこういうメニューで時々参りますと、1. のところをご覧いただくと、1回確認いただくということかというふうに思っております。それにも
01:31:36	結果というのは、この7月エンドぐらいにまとめてご提示して、8月の上旬にやると、いう思惑を考えてございます。

01:31:49	もう一つ柱でございます。調査データっていうかこれボーリングの追加の話でございますけれども、こちらはですね今までも少しお話しされていましてけれども、
01:32:01	既存にとおっしゃってるわな既存行で、データを拾っていくのはなかなか難しいということが見えてきたところでございます。
01:32:10	ですので追加ボーリングでデータがとれないかというのを今、調査票というところございまして、ちょっとどう、何ができてどこでできるかというのを、今、
01:32:21	すいません詰めているところでございますのでこの追加データの取得計画を年というふうに書いてございますけれども、そういうちょっと何ができるかといったところを7月の中旬資料提出、その翌手抜きや、
01:32:35	の形で表にできるように検討を進めていると、いうところでございます。
01:32:41	三つ目の基本地盤モデルと新生地盤モデルの差の整理、分析と言うことで、基本地盤モデルが決まった後の設計取り扱いについても、
01:32:51	我々の考えをご提示1点、これ並行して、扱いを、をご確認いただきなきゃならないと。
01:33:01	思っているところでございまして、これですね、今回先生で、今日2番モデルが出た後にですね、2番モデルってのは、タクシーで決めると言ってるけど具体的にどういうふうに決めて、
01:33:15	いうこと、いう考え方を我々持っているのかと、いうことの判断の考え方をご提示したいということで、これで今、すいません具体的にスケジュールをかけていないと。
01:33:29	というのが今実情でございまして、これ内容のですね具体的な検討を今ちょっと中についたところでございまして整理してるところなんですすいません。これは、
01:33:40	今後のですね、梅田苅谷の中でもね、具体的なお示しの日程が決めるようになれば、これをお示ししていきたいというふうに思っております。
01:33:52	JICAな進め方といたしましては今後ですね、この3の日程の具体化もさることながら、上のですね010に対しましては、

01:34:02	ディー・ディー・エスで、それぞれ今後、何も出してないときはお願い しますという形に、どんどんちょっと共済化していかなくちゃいけない なというふうに思っているところでございます。
01:34:14	で、1付近のですねBPベースといいますと、一番-1の提出というふう に申し上げてるのが②の、
01:34:23	検討の方向性の資料提出でございます。6%ですからもうこれ来週。
01:34:27	けれども、こちらはですね、今んところこの検討内容を、請求その大手 にご意見ある方にちょっとお話に対して打ち合わせさせていただいて、 また
01:34:40	実際に作業いただけるところの意見がある片田さんと
01:34:44	6月の27日あたりにご相談をかけると、いうことをしてございます。デ ータを渡してそこでちょっと、
01:34:55	ご見解をいただいて、ご相談するといったような構造を考えてございま すんでそういうことでまたちょっと6月30日ぎりぎりになってしまい ますけれども、完了日を提出させていただくと。
01:35:06	いうことをこれがdベースで考えられてると考えてるところでございま して他の大手便のところはまだちょっと検討させていただければという ところでございます。以上でございます。
01:35:17	それでは規制庁場から確認ございましたらお願いします。
01:35:24	規制庁、小峯です。まず、
01:35:29	補足が4種類ですかね、ますけど、①三つ②が一つ、こないだ話をした ときには、
01:35:42	タイトルだと、基本地盤モデルの設定についてっていう資料もあってそ こに、そもそもの4節に繋がる場所の上流の考え方とかも、
01:35:55	整理してくださいねという話をしたんですがすべが抜けちゃってるん ですけど、どういう状況ですか。
01:36:02	はい。関西電力の茂呂でございます。おっしゃる通りです抜けておりま した。抜けておりまして、それはですね①に入るべきもので、我々も① の中で、今、整理しているところでございますんでこれ一切触れており ます。失礼いたします。
01:36:16	①と同じように、7月の上旬を予定して早く緑手当の進め方でやらせて いただければというふうに考えてございます。以上でございます。

01:36:30	藤規制庁管理図、今話をした資料は大事で、そもそも、どういうことなのっていうことなんですけど、それを整理しないと、
01:36:42	じゃないと②の話も、
01:36:46	具体的にちゃんとできないんじゃないかなって思ってるんですけど、それを切り分けられるっていうのはどういう整理で、
01:36:55	構成電力の方でございます。ですね、今受けてる基本地盤モデルの設定についての資料がちゃんとできないとということでおっしゃる。
01:37:05	②の減衰も含めての話だよねと、今のご趣旨の話かなというふうには思ったんですけども、ですね
01:37:15	ここの減衰の、
01:37:19	規定もそうなんですけれども、今まで我々、この資料、昨日の5手続きというのは、ご説明させてきたところ、
01:37:33	考え方ですねある程度のお話、お話、
01:37:41	なくてという話も中にはありつつ、やっぱり
01:37:45	下せないよねというのが、特に下水に関しては全体に対する今までいただいたご指摘かというふうに思っておりました。ですので日にですねデータを隔離をすると。
01:37:56	というのは、それに基づいてこれその具体的、具体的にですね、標準的な客観的なデータという意味ではデータが足りない足りない、やっぱり、
01:38:10	というのを出してやってるところでございますので、これはこれでやっていくと、気づきについてちゃんとそれがぎりぎり出されるというところを、外にわかるように見ていくというのもこれも並行してやっていくという形が効率的なんではないのかなと。
01:38:23	考えまして吉井ではなくって並行で検討するといったような考え方を示させていただいたものでございます。以上でございます。
01:38:34	規制庁上出です。
01:38:37	一つは、何これまでも話をしていますからっていう。
01:38:41	ばまとめるだけなんで。
01:38:43	そんなに時間もかかる話じゃないのは、データを集めたりするようなものでもないですから、管轄整理して、さっと出してもらう。

01:38:54	だから整理して出してもらえればと思うんですけど難しいんですね、重ねるものでございます。ある意味でのおっしゃる通りだと思います。それにした遅いじゃないかと。
01:39:05	いうご指摘もあるかとは思うんですけども、ちょっとここは何分私、
01:39:12	どうもなかなか区分が、
01:39:15	すいませんちょっとそれを寝る時間をいただきたいというところでございます。以上でございます。
01:39:22	規制庁菅です。
01:39:24	出せないものを出せと言ってもしょうがないので、とは言ってもそういう考えをきちんと整理をしないとですね、先にその減衰の方向性みたいなところをやっても、
01:39:35	振り返ってみるとあれ、やっぱり足りないねみたいな、積み残しが出る可能性があるということ認識をいただいた上で減衰をまず話すんな話続くということで、
01:39:48	認識いただければ、
01:39:52	関西電力のみでございます。丹治さんがおっしゃる通りだと思います前段の
01:39:57	整備と、広域がメインなことがいようなことがあれば本当に何やっているのかわからないということではございますんでちゃんと前段の整理を念頭に置いてと後は知ってるんだったらその
01:40:10	整理といいますか言語がちゃんと横で進んでるということをやちゃんと見ながら、進めないといけないということで認識しました。ありがとうございます。以上でございます。
01:40:24	藤規制庁上出です。
01:40:28	そうですね、②の減衰のその6月園等の資料っていうのが、どれぐらいのものなのかがよくわからなくて、
01:40:39	どれぐらいの方を1週間、もう何かヒアリングまで開けるようなものでもないような気がするんですけどどんなものかで作っているイメージ。
01:40:50	されるのことでございます。ここを書いておりません検討の方向性ですから実際に部門的なですね、メニュー、
01:40:59	逆にこういう分析を計画したいと、いう我々の考え方をお示しするものでございます。ですのでコスト自体はですね、それほどボリューム

01:41:09	ではなくって、おそらくですね2枚か3枚か4マイカーいったらいいところといったようなボリュームになるんじゃないかなというふうには考えてございましてそういう意味で、そんなに空けずにすごいやったらいいじゃないかというふうに言っていただけなのは、
01:41:23	我々ありがたくって、にお出ししてから、それほど日を空けずに、ヒアリングの日程を設定させていただけるようであれば、我々、ありがたいかなというふうに考えているところでございます。以上です。
01:41:38	はい。規制庁上出です。そのぐらいの物量であれば、前日もらってぐらいでもいいような気もしますし、いずれにしてもまた事務的に調整を試みましようか。
01:41:53	あとは、
01:41:55	①に戻りますけど競争の物性値が、7月上旬に資料出せるっていうことなんですけど、あの会合で話もいろいろしましたけど、
01:42:06	競争って結構宿題が多くて他の岩盤だとか非線形に比べてですね、いろいろ宿題がある中、
01:42:18	もう、
01:42:19	そちらとしては、えーっから足りない部分が見えてきているのできちん
01:42:26	話ができるのか、もう1回その作業をする前にですね、ねえ、どこが足りないか、この間も前日もらって、金をもらって、月曜日のヒアリングでしたからもう少し、もう一段ヒアリングをするのかっていうこともあると思うんですけどその辺、
01:42:44	何か考えますか。
01:42:48	関西電力の方でございます。確におっしゃってるように表層地盤についてはテイカーのエビデンス等も含めて、コメントを多めにいただいているという認識を同じにしております。
01:43:02	そうですね。直接そのときにも一般抱いたことに対するお答えとしての充実というのは、まず我々このスケジュールで、でーたといいますか、エビデンスを集めて、ご提示できるかなというのでこういうふうにやっていたいております。
01:43:20	すお開けていただいたように、前回のヒアリングですね、時間ない中でちょっと無理なお願いをしてしまったので、最後まで吟味いただくところがなかったのかなというふうには思うんですけども、

01:43:34	今もう我々、全部しているものを、まずはお出ししてですね、それをご確認いただくのがですね多分早いだろうかとは思ひまして、
01:43:45	今からまたご覧いただきますと今準備しているものに入っているものまで、まだないよねというふうにご指摘いただくのもちょっと申し訳ないですし効率的じゃないかなと。
01:43:57	で、一旦は今のですね、修正というものでご確認いただくという形で進めさせていただくのではないというふうに考えているところでございます。以上です。
01:44:10	はい。長です。
01:44:14	会合では、追ってちょっとデータの出どころであったり位置付け後の見方っていうところをちゃんとしてくださいって大きく話をしていますからそれを範囲をあまり限定してとらえず、
01:44:30	ですね、全体、ちゃんと目を配って、きちんとした資料になってるかっていうのは Steering チームであるのもさんをはじめ、皆さんで確認していただければと思いますのでよろしく申し上げます。
01:44:45	関西電力の郷でございます承知いたしました。
01:44:50	はい。規制庁古味です。あと私からは澤井郷にしますば、ほぼ一つ目の矢羽根で、企業データの追加分析の下、
01:45:04	横書きで鉛直アレイの
01:45:08	分析を多角的に実施って書いてあって、要は、逆にこの文章だけ読めば、鉛直アレイの分析しかしませんよ、ほかのところはやりませんよって言って議論にも思えるんですけど、
01:45:24	書いている意図を説明してもらえますか。
01:45:31	一貫化電力の元でございます。えっとですねここは、今までお示してきた地震観測記録の分析が、
01:45:41	鉛直アレイに関する記録だったんですけども、そのものについて、多角的な分析ということで、
01:45:51	ご確認、書かせていただいたものなんですけれども、すいませんちょっと大輪滝井の IT をちゃんと理解、
01:46:01	出ないかもしれなくて、すいません。江藤。
01:46:06	電力を歩い
01:46:09	基準観測機六法
01:46:12	イヤーないもの。

01:46:14	何、何か
01:46:17	取ってきたらどうかということをおっしゃっているってことですか。ですの、
01:46:23	規制庁可児です。他事業者での検討実績ってというのは、念頭にあるのは多分給電だとは思いますが、そこの介護支所も私見しましたが、地震観測記録だけ。
01:46:37	見ているわけではなくてですね、室内試験もかなり深掘りをしたりですとかいろいろやってると思うんですって、そのうち
01:46:48	そういう参考にするといろんな
01:46:52	検討してると思うんですけど、そのうち地震観測記録だけ、参考にして持ってくるのは全体的にやってることを相当三方にしてやりますよっていう話なのかよくわからないんですけどいかがですか。
01:47:08	関西電力野本でございます。一言で申し上げますと、九州電力さんて他電力さんの手がけがそうなんですけども、衛藤の実績をやってらっしゃる分析を、
01:47:23	全体的に参考にさせていただきたいと、いうふうに思っているということで今管理さんのおっしゃっていただいている、後者でございます。以上でございます。
01:47:33	はい。規制庁菅ですとりあえずは終わりました。はい。私の方からは以上です。
01:47:41	成長山口ですか耐震関係について規制庁側から確認ございますでしょうか。
01:47:49	はい。規制庁、ごめんなさい。今、話があったやつだと、記載ぶりが市場にまずい。
01:48:00	ので、誤解をされるような、変に限定するというふうになった記載は今後一切しないように気をつけてください。
01:48:11	はい。関西電力の元田でございます。ちゃんと気をつけて参ります。どうもありがとうございました。
01:48:19	濱崎さんどうぞ。
01:48:22	はい。規制庁浜崎です。①の表層地盤の件なんですけれども、これ以前ヒアリングからも指摘してるんですが東側地盤の流動化処理場と外側の、

01:48:35	一番母集団基盤の粒度がこれ地盤物性値等の情報をですね、それはこの7月のビルディングには資料の中に盛り込まれると、いうふうに考えておけばよろしいですか。
01:48:51	パネルのものでございます。すいませんちょっと確認させてください流動化処理表の東側2番手お開きまでちょっと切れて聞こえなかったり失礼いたしました。
01:49:04	はい。規制庁浜崎です。表層地盤としては流動化処理等を考慮するのは多分東側地盤のZ当時14のエリアだと思うんですけども、
01:49:17	そこで表、流動化処理等については、説明があるんですけども、流動化処理場の外側ですね、周りの
01:49:27	高位段丘堆積層ですかね、こちら辺の情報って今まで説明がないというふうに、こちら思ってるんですけども、7月のその資料提出のときには、説明があるのでしょうか。
01:49:46	関西電力の能田でございます。あれですね外側の丸野新山の地質構造について、データをということと理解いたしましてそれは、
01:49:57	と今あります。
01:49:59	内訳は、今それは準備しているのは、準備している、
01:50:04	すいません、準備してるということでございますお示ししようと思いません。以上でございます。
01:50:09	はい。規制庁浜崎です。
01:50:11	もう一つ、②のですね、S波検層の追加の件なんですけれども、
01:50:18	折衝のヒアリングですと、これかなり事業者否定的だったというふうに印象を持っていますんで、先ほど、既存のもので
01:50:29	さらに追加のケース測定っていうのは難しいということだったんですが、今回新たなPS検層をもってですね
01:50:39	測定するというような説明があったかと思うんですけども、
01:50:44	このSF検層に関しては、対象はやはり高振動数になるということで、そういう意味で事業者は先週否定的なことを言っていたんと理解してるんですが、
01:50:54	今回、その対象振動数がもう少し低振動数までを取れるだとかですね、そういった見込みがあったから、今回追加をすることになったんでしょうかその辺り、
01:51:06	もし状況の変化等あったら説明してください。

01:51:10	使った入力の方でございますので、今おっしゃってるようなターゲットとする頻度数が低周波つまり取れるかだとかそういう状況変化があったものではございません。
01:51:22	我々が何て言うんすかねちょっと強調するような物言いをしたのは事実でございます、それはですね確かにおっしゃっていただいたような日付もあったんですけれども、ちょっと本当に取れるかなというのが、
01:51:38	念頭にあってちょっと否定的な後ろ向きな言い方になったと言ったようなところだったというふうに、ご理解いただければというふうに思います。S波計算については、羽田野町長の通りこういう明日ターゲットにしている、なかなか直接ですねこれを、
01:51:55	エビデンスということには難しいというふうに今それは規制庁さんとも西が一緒だと思うんですけれども、ただこの伊佐検査をですね直接に
01:52:07	1力にはなりえないとしても、非常に協力が即方向の支援になり得るデータだと、ということだと、いう認識にやっぱり立ったということだと思いますんで我々もできることはやりたいと思ってちょっとやれないかと。
01:52:23	ということで検討していると、いう我々施工の経緯だというふうにご理解いただければというふうに思います。以上でございます。
01:52:35	はい。規制庁浜崎です。現時点でのいつ、いつ家は理解しましたので、その計画の方ですね、資料で確認したいと思います。私からは以上になります。
01:52:58	すいません。
01:53:06	07、すいません。
01:53:11	今ちょっと線が外れちゃったので、これからもう一度言い直します。
01:53:16	1、
01:53:19	ちょっと、
01:53:21	プラップ。
01:53:25	名称た図です聞こえますか。
01:53:31	はい聞こえます。谷井さんのご意見、そういうことでちょっと、いつトラブっちゃった。
01:53:38	規制庁の岸野です
01:53:41	今お話あった諏訪県層理
01:53:46	的に調査方法、

01:53:49	名称になるのか、今は、
01:53:52	PS 検層としよっ
01:54:00	関西電力の方でございます PF 検討と同じでございます。
01:54:09	技術件数はそれによってそれ設計値に用いていて、
01:54:13	それと S 波検層として、
01:54:18	周波数領域が偏っていて使えない云々というお話があったんで別の調査方法だと思ったんですけど、同じ方法ということで、
01:54:26	もう 1 回、
01:54:27	確認した上で教えていただきたいんですけど。
01:54:33	違う。関西電力の郷でございます。ですね今までも我々は検層使えないものってというような位置付けというよりは、多分出野永田実験活動記録による結果を受け、支えるものとして、
01:54:52	とらまえきはあったんですけども、今回取る時にも、やっぱりこれはあればそれなりの強い、何ていうかね支える材料には、
01:55:06	なり得るんだらうなと思っているとちょっとすみません先ほどの何か繰り返しになってしまってちゃんとお答えできてるかどうかはあんまりできないですけども、そういうことでございます。
01:55:16	既設のちょっと、
01:55:21	これまで一締め
01:55:25	で、
01:55:25	ええと Vs が悪くって減衰。
01:55:30	それで、
01:55:32	少し、市、直接は使えないけれども、そこを支援というか参考として使えるものという位置付けでこれがちょっと同じ方法であるとそう理解しておけばよろしいんですか。
01:55:48	関西電力宗でございます側方支援という位置付けは一緒でありましてやり方はですね、違うのかといえば同じものを考えていて、なぜ取るのかというと、やっぱり数をふやさないと、
01:56:03	いけないよねという認識でやっているというところでございます。やり方について模擬体が何かあるようであれば、
01:56:14	ちょっとお聞きしておかねばならんかなと思ひまして、ですね、今すいません、規制庁、古作ですけど、こちらがそちらの調査方法を指示することはないので、

01:56:26	こちらが考えていることを聞きたいというのは、ちょっと筋が違うんじゃないかなと思います。
01:56:32	こちらからワー給電こういうような話をやっているよという、
01:56:38	要はは情報提供しましたけど、
01:56:42	まずはそれを勉強し給電なり、ゼネコンなり、やってる方々に、
01:56:49	調査をして、何ができるのかっていうのを原燃として考えると、
01:56:54	いうことが大事であろうかと思えます。それをする前に、ここで鉛直アレイ地震観測記録を用いた多角的実施等、
01:57:05	S波検層。
01:57:07	しかやりませんと。
01:57:09	というような情報提示をすること自体が私はナンセンスだと思いますも分析が終わったってことですか。この二つだけですかっていうふうになっちゃうんですよ。
01:57:19	一つ目の矢羽根についてはいやこれには限りませんと。
01:57:24	言われたので、誤解をしないようにしてくださいねでいいんですけど。
01:57:29	二つ目についてはいやこれだけですと。
01:57:32	言っていて、
01:57:34	何ですかと言ったら、データを拡充ですとだけしか言わない。
01:57:39	なんでそれだけでいいんですか。
01:57:41	ていうところの説明もちゃんとできないと。
01:57:44	ということなので、入口に立ってないということじゃないかなと思います。
01:57:52	関西電力のことでございます入口に立ってないと今ご指摘があった入口が、すいませんオタク気が担当おっしゃってることを理解していないということに今気が付きました。
01:58:05	えっとですね、今私たちが説明してきたのは、200に示される方これ3情報あって、それが議員家族記録とえさ検層と。
01:58:20	それから材料試験ということでこの三つについて、きちんとデータを確認してやって参りますと、いうことをご説明を、
01:58:31	しないといけないというふうに考えてございます。そのうちですね今、このですね鉛直アレイの金額記録の方を、これだけかというのに対して材料試験の方書いてないよねと。

01:58:44	滝さんのおっしゃる通りでここ先ほどおっしゃった通りでございます。そうするとですね S 波検層については、これ S 波計装だけじゃないよねと、やられるのはまさにその通りでその議事担当記録が存在理念がおるんですけども、
01:58:59	だから、ちょっと先ほどと同じ誤字的なのかなとは思いつつ中衛藤井が埋め立てられておっしゃっていたような気持ちで、まだちょっと私今この
01:59:11	絵を見ますと詰まって失礼いたします。ちょっとそこの SR じゃないよねって置けるところを、補足いただけますとありがたいです。ありがとうございます。
01:59:21	古作ですけど、もういいことはありません。
01:59:25	原燃でちゃんと、自分たちがやるデータ拡充っていうのは、これでやり切ってますと。
01:59:33	いうことが説明できるように、ちゃんと情報収集をし、
01:59:38	その上で自分たちがやるべきことはこれですと、これでやり切ってますといえるようなことを、
01:59:46	提示してください。
01:59:51	それをいつするのかっていうところ Lower、またここで説明いただければいいですけど、
02:00:03	それを早めに、いつできるのか、っていうことを言ってもらわないとまた
02:00:09	今日の最初の方にも言いましたように、7 月は飛ばして 8 月、
02:00:14	2 会合することにしてますがそれにも間に合わないみたいになると、あれデータ拡充って言ってませんでしたっけってなるので、
02:00:25	その点はどういう説明をしていくのかはなるべく早めに聞きたいなとは思ってます。で、今日こういうふうに来てきたので、何らか説明されるのかなと思ったんですけど。
02:00:39	思いついたんでとりあえずやってみますみたいな感じの説明はもう聞き飽きたので、そんなことではなくちゃんと整理をしてください。
02:00:49	はい。関西電力の郷でございます。ご趣旨理解いたしました。
02:00:53	清長岸野です。今のやりとり
02:00:59	で、

02:00:59	具体的な調査方法とかです。ね、原燃がどう考えてそういう方法を選択したの、かっていうところもあわせて聞いたんですけども、間近いいです。ね、資料の中でおそらくそういった説明はあるし、
02:01:12	と思っていますので、きちんと説明できるように準備をしておいていただければと思います。
02:01:18	以上です。
02:01:20	加賀電力の方でございます。すみません岸野さんがご質問は理解いたしました。すみません今ここです。ね、具体的なやり方についてすみません私今ちょっとです。ね、きっちり最後の
02:01:33	データまで今把握できてるわけではないので、きちんとちゃんと資料にまとめてご説明できるように、準備させていただきたいと思います。以上でございます。
02:01:44	はい。規制庁の田尻です。
02:01:47	今まで産物意識だと思んですけど、この今後の進め方の資料について規制庁側から他に何かありますか。すみません古作です。3ポツの最後の③なんですけど、
02:01:58	内容検討中ってことなんですけど、内容検討中では進め方費やとして何何とも。
02:02:06	歯がゆいんですけど、どう進めるつもりですか。
02:02:10	関西電力の郷でございます。芳賀ゆんとおっしゃるのはその通りだと思います。私もうこういうことしか書けないのが芳賀いう状態ではございません。
02:02:21	えっとです。ね、これ、基本に番号では出た後にその品性用に番号開きで地盤モデルの扱いを改めてどうするのかということの判断企業をご提示しなくなるということ、で物体をです。ね、
02:02:37	具体的なやり方、で、これをお示ししていきたいということでこれをちょっと考え方を書き下す作業を今始めてるんですけども、
02:02:49	少しです。ね、きちんと網羅的にです。ね、ご説明できるにはちょっと詰めなくちゃいけないところが随分あるなということが見えてきたところ、でございます。それでちょっとすみませんスケジュールを今お示しできてない状態、でございます。して、

02:03:03	できるだけ早々にですね、このスケジュール、いつまでにお示ししますというのは、お出しされてるのは私も強く思ってるところでございます。以上でございます。
02:03:13	規制庁古作です。今説明いただいたところ少しわかるところがあって、
02:03:20	わかっわかることがあるのは二つなんですけど、まず原燃がどういうことをやっているかということで、もう一つは進め方のヒアリングとして話をすべきことっていう認識がずれているという、
02:03:33	です。
02:03:34	一つ目は、
02:03:37	いえ、
02:03:39	どういうことをやってるかというのでいろいろ課題が見つかってきたと、いうことを言われていました。
02:03:44	その課題って何ですか、それをどう、どう進めていきますかっていうことを議論する、確認するというのが、この場の
02:03:55	ポイントなんだろうと思ってます。
02:03:58	で、二つ目の観点にも今関係しちゃいますけど、二つ目の方は、進め方の日やわ。日付。いつまでっていうことを確認したいのではなくて、
02:04:10	その今のプロセスを確認したいんです。
02:04:13	どういうふうな段取りで順々に進めていくつもりなのかと。
02:04:18	いうことであって、日付ではありません。
02:04:23	どうせいつまでっていうおしり行ってもですねどうせヒアリングを重ねたらずれるわけで、
02:04:29	そんなことを確定したいわけじゃなくて、何を議論するつもりで準備しているかと。
02:04:35	いう内容が知りたいわけですからその点誤解しないように、
02:04:39	です。
02:04:40	で、一つ目二つ目合わせると、今、検討しなきゃとって認識をした課題っていうのがどういうものであって、それをどう詰めていこうとしているのか。
02:04:53	いつぐらいに我々に説明すればいいと思っているのか、いつぐらいにっていうのはその、その検討のどのフェーズで説明したらいいと思ってるのかと。
02:05:01	いうことを次回にでも話をさせていただければと思います。

02:05:08	はい関西電力の方でございます。はい。表記いたしました。
02:05:13	はい。清長館です。
02:05:15	今日、この資料、一通り最後まで来たんですけど
02:05:19	ちょっとすみません、次の竜巻の関連で一応確認したいんですけど、この竜巻の進め方の資料ってどれぐらい時間かけようと思ってます。
02:05:27	何時間。
02:05:34	関西電力の肥後です。どうぞ。
02:05:38	時間としては鶴。
02:05:43	両方量も少ないですし、そんなに変わらないと個人的には思っているところでも 10 分 15 分以内。
02:05:49	と思ってます。
02:05:51	長佐治です。振り替えの時間でどうぞ。
02:05:55	連続してやってほ
02:05:57	とけばいい。
02:06:01	丸野石黒です。はい連続でというのが、はい、元の認識です。
02:06:08	はい。規制庁谷です。衛藤。
02:06:11	進めて説明をしてもらおうと思うんですけどそれ、
02:06:15	なぜこれこの資料説明してもらうのはいいんですけど別に読み上げていただく必要がなくて、何相談したいかだけはっきりしてもらえば何か資料に書いてある内容見ると、これを相談したいんだっけっていう、
02:06:28	ところはちょっとあるので、そのあたりの指示だけはっきりして説明していただければと思いますお願いし、
02:06:35	はい。関西電力の重野です。終わりました。それでは資料、全部で 5 万円になってるんですけども、この資料、たく日 2
02:06:49	この場所の位置に M で言いたいのは、今後、中段のところですね、地震時のとらえに対する設計の考え方について指導提出ヒアリング。
02:07:01	あと 1 から 4 に密閉 7 月 26 に資料提出月 3 日のヒアリングということで、こちら今後の 1 月頃までのですね、
02:07:12	内容について面が説明する内容について、
02:07:18	ご認識いただきたいというのが、端的な
02:07:22	何か相談事項っていうかこちらから伝達したい事項でございまして、一応先週の金曜日 2、ヒアリングの中でですね、

02:07:31	そのときにはちょっと三つほど、先立ち説明する内容という形でご説明を申し上げたんですけれども、その時には規制庁さんの方から、
02:07:42	この三つの話って、独立してる話なのか、それともちょっと関連性がある話なのかといったご指摘が、ご質問ございまして、もう一度元の中にですね、
02:07:56	三つの話の、振り返ってみたら、関係あるなということで、この三つの独立して説明するよりも、
02:08:06	この三つを含めたもので、どう説明するのが、法律がいいかなというふうに考えた計画してちょっと今回、今回この資料を出させていただいたという、
02:08:17	経緯でございます。
02:08:20	細かくあれなんですけれども、税込歌って2番目3番目が相対変位の話と、あと、
02:08:29	対策設備として期待できない建屋の一部、パラベットの話をさせていただいたんですけど、この話も、この進め方の中で言うと、した範囲の話は②に絡めて話ができるかなということ。
02:08:44	あとパラベットの話は、もともと建屋等はですね、対策設備として期待しているものということで、①のところですね。
02:08:54	竜巻防護対象施設周辺の構築物により、
02:09:01	やはりその後になるというようなものの一部になるかなということで、先週ご説明した内容っていうのも、このページで説明さしてあげるのがいいのかなというふうに思って、お出ししたものでございます。
02:09:16	多分
02:09:17	ちょっと疑問に思うだろうなと思うことちょっとさ、あらかじめちょっとお話させていただきますと、最初に開口部の設計の考え方っていうのを冒頭に書いているので、何でこんなことを最初に言ってるんだろうなというふうに、
02:09:30	疑問に思われるかなと思いましたので、ちょっとそこだけ補足させていただきますけれども、まだ第1回の設工認でもですね、竜巻防護対策設備については審査いただいています、
02:09:43	ネットの構造とか、支持学校の構造といったようなことについては、弊社からは、日本原燃さんから説明してきたというところなんですけれども、

02:09:53	その場そのときにはですね、竜巻防護の対策設備というのが、ぽつんと立ってるというか、独立した問題で、
02:10:03	医療の条件だったと。今回第2回では、建屋を建設して行って、その相談併入の接触とかですね、建屋による簿に期待すると。
02:10:13	では考え方も出てきてますので、それらとの境界部分で、介護が生じるといったようなところで、第1回との違いがこういったところに見えてくるのかなということで、
02:10:26	この考え方を示させていただくと、また
02:10:29	2月3月の会合を経てですね、会議の方に来ているようなところもございまして、これに合わせてご説明させていただくということで、この辺の一覧の説明をさしていただいてから
02:10:41	8月下旬から第2弾ということで、共通中に今ちょっとこちら今、準備をしているところではございますけれども、そこに挙げ上げていくことができたかなと。
02:10:52	いう思いで、今回
02:10:55	資料5という条項にして、その辺ですけども、ちょっと用意させていただいたというものでございます。
02:11:02	続きまして、この345っていうのはこちらの対策対応方針に書かせていただいておりますが、こちら先週のヒアリングにおいて、
02:11:14	今まで出てきたコメントにほぼ、どの場面で該当するのか整理が要るかなといったご発言をいただきましたので、例をですね、
02:11:24	もしくは市会合の後の
02:11:29	の話で、1性能の整理、同じような形に行ったらって言ったような話も一つさせていただいたところもあって、このフォーマットは溢水ともうほぼほぼにあり、同じようなものになっております。
02:11:43	そこの右から2番目のところにですね添付書類を補足説明資料というふうにさせていただいて、ここに結局基本としたらこれ構造の話をしてるときのポイントなので、
02:11:54	負けて共通弘中で説明していたのかなというふうに考えてお出しさして差し上げているものです。
02:12:06	これと同じようなこれ以外のものも含めた、コメントリストっていうのを、3月27に一度お店して、これ最後の4項目出てきたよっていうのは、

02:12:18	この後追加して、審査会合、3月の審査会合でいただいたコメントと、3月30日のヒアリングでいただいたコメントという形としては追加のページいただいております。
02:12:29	ちょっと1点、
02:12:31	この回答方針なんですが、
02:12:36	あと下ちょっとちゃんとしたコメントに対してどういう回答をしようとしてるのかっていうのが、この文書だと。
02:12:43	その時ちょっと読み取れないというふうに私は思ってたんで、ここをしっかり直したものを出したかったんですけども、ちょっと時間がなかったんで、すいませんちょっとそこまで手をつけるところまで及ばない状態で、生煮えで、
02:12:56	今回出させて失敗てるのが実態でして、やはりちょっと私の方でしっかりと修正したものを、改めてこのコメントリストっていうのは出していたさせていただきたいと。
02:13:07	いうふうに思っております。
02:13:08	説明としましては、以上になり、
02:13:11	規制庁の田尻です。
02:13:13	いろいろ説明はされたんですけど、
02:13:17	3ページから5ページのところでコメントリストみたいな整理されていて、
02:13:25	今資料の1ページで言うと7月26日に使用停止とかで行って説明しようとするこの設計の考え方。
02:13:35	設計思想っていうふうに考えていたかもしれないけど、設計の考え方をまず教えてくれよっていうのが一番重要な気がしていて別に相対変位を別途やりたいっていうのは認めはしないんですけど、
02:13:44	この設計の考え方っていうところを説明してもらわないと進めないんですよねって言ってやってる。
02:13:50	今のお話だと共通中に使って結局設計の考え方を説明したいという
02:13:58	はい。関西電力の石黒です。そうですね。実験の考え方を説明する時に、効率よくご説明しようと思えば、
02:14:09	共通12の各内容を整理してましたから、

02:14:15	それをすべて綺麗な形で整理することはちょっと難しいかなと思うんですけども、これに関連するところについては用意して、一度ご説明差し上げるのがいいかなというふうには考えておりました。
02:14:27	同じです。
02:14:32	さっき進め方の資料の3ページで言うと設計の考え方の整理等で、整理がついた後に第2弾として、共通順位でやってくぞってというような話を聞いてはいたんですけど、今の話だとどのタイミングから共通中に入るかどうかわからなくなるんですけど、
02:14:45	まず進め方としては、横に置いとくと下限として加点つくところは別に構わないんですけど、設計の考え方をまずしっかり認識合わせをしたいなと思ってます。これ、
02:14:55	前回からずっと言ってる話で、
02:14:57	いて、そこをやらずに、共通中に作るのに手間かかりましたって時間だけかかって、結局中身の何か根本から倒れましたっていう、
02:15:08	でもあって進め方のところですよ。
02:15:13	違います。
02:15:17	設計の考え方を、ヒアリングの場で示すというふうに、硬い連絡の石黒です。
02:15:24	ビジネスというふうにちょっと考えていたものですから、こういったテーマの話をするのかっていうことをちょっと記載させていただいたというのが、実態でこの場で、
02:15:34	議論めいたこと言えなのか良くないのかなと思って、そういった具体的な設計の
02:15:43	個別の話はここでちょっと書かなかったというのが一体でございます。すいません。傷があった。はい、規制庁古作ですけど、石黒さんの言ってることが私には理解できなくて、
02:15:57	田尻はですね。
02:15:59	いきなり細かい話、具体に入っちゃってるけど、まずは設計の考え方じゃなかったでしたっけってもっと上流で言うことがあるでしょと言って、
02:16:11	さらに、進め方のヒアリングという意味では、その設計の考え方というにも、

02:16:18	ぐ、どのようなやり方で説明していきますがこれまでいろいろとその設定の考え方をうまく説明できてなかった人たちでしたよねと。
02:16:26	ということがあったのでどうぞ解きほぐしてって、
02:16:32	話ができるかということをお聞きする場だと思ってました。なので先野崎にいきなり来ちゃったんで、何言ってんですかっていうことなんですけど。
02:16:42	いかがですか。
02:16:46	関西電力の石黒です。
02:16:50	かしこまりました。すみません。ちょっと僕が考えていたとの関係もなかったんですけど、設計方針を示してくださいって話が前回ございました、
02:17:02	この設計方針っていうのは、
02:17:07	基本設計方針なりですね、を出しているものからの展開から、示すようにしてくださいねっていうふうにおっしゃってるのかなというふうに思ったので、
02:17:17	そういうことを書こうと思うと、共通 12 のようなフォーマットで塗れすることの方が、
02:17:25	話になりますかなというふうに思ったという、すみませんといった古作です。
02:17:30	規制庁古作ですけど、理想的にはそうなんですけど、それでやっていったところを、説明がうまくできなかったのが原燃です。
02:17:40	なので、体裁にこだわっていたのでは話が始まらないから、
02:17:46	率直に、設計の考え方行ってみていうことであって、
02:17:51	その次、
02:17:53	いうときに、これまで受けたコメントっていうのは、うまく
02:17:57	回答できるような設計の考え方になってんだよねと。
02:18:02	いうことをまずお聞きするのかなと思ってました。そうすると、
02:18:07	確かに最終的には 2-1 になるんですけど、
02:18:10	共通 12 っていうのを作る前段階って話をするってありますよねと。
02:18:17	ということだと思っていて、なので、どの段階でどの程度の説明していきますか、対応していきますかっていうことを、整理してみて、
02:18:28	みたらいかがですかという話をしたという思っています。

02:18:35	関西電力の石黒でございます。かしこまりました。
02:18:40	理解です。
02:18:42	そういう意味では、ちょっとポートをやるような話じゃないのかもしれないけれども、この
02:18:49	ポーター変位っていうふうに関前回は前回からお話した、させていただいてるものっていうのは、地震時の相対変位について、
02:19:00	仮に当たった場合でも、影響評価をして、問題ないということが示せれば、設計としては問題ないというそういう説明を、
02:19:10	3月の会合でさせていただいたんですけども、
02:19:15	新設の
02:19:17	竜巻防護対策設備を設計するときに、
02:19:22	計算上は物と物買うから、
02:19:25	ぶつかる条件でものづくりをしましょうという考え方って、やっぱりおかしいと思うんですよね。
02:19:31	これから作るということを考えるのであれば、当然隙間をあけて当たらないようなものづくりをするっていうのが基本なん、原則的な考えだと思いますので、
02:19:41	この原則に立ち返った設計の考え方っていうのを、大変のところで、ご説明するというつもりにしておりました。それをまた
02:19:53	ちょっと時間とって、ご説明するような資料作りっていうのを考えていたという話でございます。
02:19:59	あとこの会合部の設計の考え方につきましてはですね、ちょっと
02:20:04	しっかりとロジックを考えてからお出しできかなと思って、まず簡単にちょっと表現できないところではあるんですけども、その建物の
02:20:15	位置関係とかですね、入ってくる飛来物の角度といったものを考えて、
02:20:22	この
02:20:24	古作ですといった話紹介しようと思っておりました。笠田です。ありがとうございます。
02:20:31	今ある程度具体は内藤認識が取れないからっていうことで言われたんだと思うんですけど、
02:20:38	大きく言うと、波及影響の関係からの構造設計のあり方と、
02:20:45	ということと、あと
02:20:48	竜巻防護という機能について、

02:20:54	な、どう、飛来物の指定をどう考えるのか。
02:20:59	ていう古藤。
02:21:02	に、論点としては行き着くのかなあと。
02:21:06	思ったんですけどそこは認識合ってますかね。
02:21:10	はい。関西電力の石黒です。そうですね。時間あるかと思うんですけどおっしゃる通りです。
02:21:19	はい、古作です。でもそれに対してどういうふうに見ていくのか、我々と議論していくのかっていう、作業の進め方っていうの何かイメージありますか。
02:21:31	大下。関西電力の石黒です。
02:21:34	まずは
02:21:38	考え方と具体例っていうのを、1回ここに国から示させていただいて、
02:21:48	その設備が要求されている状況事項っていうのを、が満足しているのかっていったものを、いくつかの角度からですね、こちらで書いたものをお出しして、
02:22:00	設計の考え方に、何ていうか、網羅性とまで言わないんですけども、従来説明していたものと、との違いがもしあればですねその辺も説明させていただいた上で、
02:22:15	そういうそれぐらいの1週間で共通受理の話ができたらいよいよねっていうようなやりとりができたらいいかなというふうに考えており、おります
02:22:24	すいませんちょっと抽象的です。以上です。規制庁古作です。大きく2点というところと言うと、まず、飛来物の言って、ここで斜線って書いてるのか。
02:22:37	ですけど、斜線の先手や線なんですけど、直線じゃないよねみたいなこともあって、
02:22:44	そういったところの考え方。
02:22:46	妥当性ということの説明をしていただかなきゃいけないと思うんですね。で、その際に、いつも断片断片で説明されちゃうので、
02:22:56	それで、その斜線を考える必要のある論点って何ですかっていうと、ここで書いてあるように、
02:23:05	他の構築物で

02:23:09	来ることがないのでと言って設けている開口部についてのことと、あと、そもそもその向きとして関係ありませんと言って開口を許しているものと、幾つかあったはずで、
02:23:23	そういうところを一通り挙げて、すべてについて斜線についての見解が合っているのかどうかと。
02:23:31	いう古藤の説明をまとめていただくというのが大事かなと思います。で、その過程の中で、前あったこの部分は埋めることにしたので、論点から外しますとかっていうのがあれば、
02:23:43	その時に行っていただきたいと。
02:23:45	いうところですか。まずその1点目については、認識形はどうですか。
02:23:53	はい。関西電力の石黒です。
02:23:57	おっしゃるところで、特に違和感を感じませんで、
02:24:02	一応ですね、すべてっていうのは、すべての小野岡設計上開けている開口部のことをおっしゃってると思うんですけども、
02:24:12	この考え方として大きくこの四つかなと思って、提示させていただいたというのが、一応この思いはあります。
02:24:23	古作です。この四つというか、主には
02:24:28	それで言うが入ってないのかな。
02:24:31	G 天皇。
02:24:33	ええ。
02:24:35	飛来物防護ネット 2。
02:24:37	角っこに角っこの横中間部分。
02:24:42	2 階高があったはずなんですけど、
02:24:46	それは埋めてるっていうことでいいんですけど。
02:24:50	はい。関西電力の石井郷でございます。ここについては今現時点では埋まってないんですけども、埋める計画にしております。はい、細田です。そういったこれまで論点に挙げたような開口部について、
02:25:05	ちゃんと見解を示してくださいねということです。
02:25:13	そういう点では今の話は聞かないとこの枠の中に入ってなさそうにも見えるし、
02:25:18	っていうのがあるので、
02:25:22	従来開口にしていたところっていうのを一通り累計してみて、ちゃんと論点漏れがないようにと。

02:25:30	ということで整理をしていただければと思います。逐一リストにしろというわけではなくてですね、ちゃんと論点潰してくださいねということ、後になって困らないようにということですのでよろしくお願いします。
02:25:45	はい。赤瀬林檎の石黒です。承知しました。少しお時間をいただくかもしれません。はい。
02:25:51	してちょっと実ありがとうございます。今日今登坂に言っていたいた通りなんで、
02:25:55	開校多分大きく言うと本当は2種類で、
02:26:00	今の234みたいに、他との関係でどうしてもあいてないとか無理なものってパターンと、①みたいに、近くにあるものを考えると、開けてもいいなというふうに原電が考えたもの
02:26:12	多分2種類がいて、
02:26:14	そこで開放部の抽出ってというのは、それぞれやりやいいだけの話で今度開口部がそこにあることを前提に、その開口部に対してどういう対策をとるんですよっていう考え方が今度では、
02:26:26	今参考で書かれてる①から④でもう、書き方妙にとりきれなくてラビリンスにしますよってやつもいれば、何か対策を
02:26:33	とりますよみたいな高いです。
02:26:36	その考え方を整理しなきゃいけないんで、その時にさっき言った斜線っていう話が出てくるんだけど、
02:26:42	どこまでだったら、営業およぼしうって整理しますかっていう考え方がここがコンピューターって説明してもらわないと、直線だからいいんですっていうふうに言っているのを続けるだけだと話が。
02:26:52	ないので、そのところの根拠とともに、こういう考え方でこの範囲については上に行くんですよとかっていう対策を説明してもらって、
02:26:59	その流れなんです。
02:27:01	で、共通中に日程とか何かそんな流れになると思っていたんですけど、ちょっと年度間で認識これまであったかわかんないですけど、イメージはそんな形かなと思ってたんですけど、何回と違いますかね。
02:27:15	関西電力の石黒です。
02:27:17	意図は
02:27:20	大きく間違いではないです。ただ
02:27:23	斜線といったところの、どこまでを工学的に、

02:27:28	斜線の範囲とするかっていったところは、少しちょっと頭をひらないといけなかなというところだと思います。
02:27:36	認識にうちが大きくありません。はい。はい。社長鳥居です。
02:27:41	検討いただくのは構わないんですけど、簡単に言うと、明確に根拠を示さないとその使い方はできませんよっていうのがまず基本だと思うんですよ。今後
02:27:50	も実験データなんか全部そろってですね。
02:27:56	簡単で他の設工認も全部一緒だと思うんですよ。根拠が示せたら使える示さなきゃいけないってちゃんと埋めてくださいとかそういう話だけだと思うので、何か無駄にや何か証拠はそろってないんだけどいけると思うんですよっていう理解
02:28:08	はしても意味がないと思うんでその点も考慮してご検討いただければと思います。
02:28:16	はい。関西電力の新保です。正直言いました。
02:28:20	はい、規制庁古作です。その点でまず斜線の話は
02:28:26	前提の整理っていうのでやるべきことっていうのはわかったと思うので次回の進め方冷やでは、それをいつ、どの程度やっていくかというスケジュールを示していただけるのじゃないかなと思う。
02:28:37	出ます。
02:28:38	もう一つは相対変位の関係からの
02:28:44	構造健全性確保の設計考え方というのを改めるというようなことで、そこワーその旨を明確に整理をしていただくということと、
02:28:55	それに応じてどういう対応が必要になっているのかということの事実関係を整理していただくってことかなと。
02:29:02	思うんですけど。
02:29:04	認識は合ってますか。
02:29:09	赤瀬電力の石黒です。はい。認識は合っていると思います。これ、この話は、進め方のヒアリングで継続するという、そういう整理でよろしいんですね。
02:29:21	古作ですちょっと内容に入るの
02:29:26	今日の資料のような別資料には少なくともなるんだと思うんですけど、
02:29:33	個別ヒアを11本立てるっていうほどではないにせよ、野木で議題としては一つ分けた方がいいんじゃないかなとは思う。

02:29:45	また電力の就労でございます。
02:29:48	ちょっとしました。
02:29:53	はい。成長度です。
02:29:56	自分からこの資料以上ですか他に規制庁が何かありますでしょうか。
02:30:05	長山口です。
02:30:08	予定した資料は以上となりますが、原燃がお金なんか説明事項。
02:30:17	はい。本日の案件これで終了でございます。光田でございます。
02:30:26	基線長山口です。それでは振り返りの前に休憩を挟んだほうがいいと思うので、
02:30:34	10分ほどの休憩でよろしいでしょうか。
02:30:41	はい。与儀西浦でございますはい。10分ほど休憩をとらせていただければと思います。
02:30:47	規制庁山内ですそれで16時10分再開で一旦休憩としますので録音を鉄心